

# 福田大輔 経歴書 (Curriculum Vitae of Daisuke Fukuda)

2023年6月1日現在 (As of June 1, 2023)

## 目次 (Contents)

基本情報 (Basic Information)	2
職歴 (Job Experience)	2
学歴 (Educational Background)	3
研究助成等 [代表] (Funding [Principal Investigator])	3
研究助成等 [分担] (Funding [Co-Investigator])	4
講義・実験・演習等 (Teaching)	5
非常勤講師等 (Part-Time Teaching)	6
所属学会 (Academic Society)	6
学協会役員等 (Board Member in Academic Society)	7
学会誌・国際的学術雑誌編集委員等 (Editorial Board Member in Academic Journal)	7
その他の学会活動 (Other Academic Activities)	7
学内における管理運営等の活動 (Administrative Roles in University)	7
指導学生と学位論文 (Supervised Students and Thesis Titles)	7
受賞 (Awards)	11
指導学生の受賞 (Awards for Supervised Students)	12
投稿準備中・掲載準備中論文 (Paper in Progress)	12
学術論文 (Journal Paper)	13
国際会議発表	21
学術誌特集号主査 (Editor in Special Issue)	29
書籍等 (Books and Book Chapters)	29
解説論文・総合報告等 (Report)	30
招待講演 (Invited Talk and Lecture)	30
査読 (Journal Referee Service)	31
公的審議会・委員会等における貢献 (External Committee)	32

## 基本情報 (Basic Information)

氏名(Family Name, First Name): (Fukuda, Daisuke)

生年月日(Date of Birth): 1974年(昭和49年)10月1日 (Oct. 1, 1974)

所属(Affiliation): 東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻  
(Department of Civil Engineering, Graduate School of Engineering,  
The University of Tokyo)



職場住所: 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学工学部1号館113号室  
(Hongo 7-3-1, Bunkyo-ku, 113-8656 Tokyo, Japan) [Office: Room 113, Eng. Bldg. 1]

電子メール (Email): fukuda [at] civil.t.u-tokyo.ac.jp

専門分野 (Research Field): 土木計画, 交通計画, 交通行動分析, 交通ネットワーク分析, 交通工学, 交通経済学, プロジェクト評価, 都市・地域経済分析

Infrastructure planning and management, transportation planning, travel behavior analysis, transportation network analysis, transportation engineering, transportation economics, project evaluation, urban and regional economic analysis.

## 職歴 (Job Experience)

2001年8月-2005年4月	東京工業大学大学院 理工学研究科 土木工学専攻 助手
2005年5月-2007年3月	東京工業大学大学院 理工学研究科 土木工学専攻 助教授
2007年4月-2008年4月	デンマーク交通研究所 / デンマーク工科大学 交通学科 客員研究員
2007年4月-2016年3月	東京工業大学大学院 理工学研究科 土木工学専攻 准教授
2011年9月-2011年11月	インペリアルカレッジロンドン 交通センター 客員研究員
2016年3月-2020年3月	東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 准教授
2016年7月-現在	一般財団法人運輸総合研究所 研究アドバイザー(兼任)
2020年4月-現在	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
2020年4月-2023年3月	東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 特定教授(兼任)
2020年4月-2023年3月	東京大学大学院 工学系研究科 復興デザイン研究体 特任教授(兼任)
2020年10月-2023年3月	東京大学大学院 工学系研究科 次世代都市-交通デザイン研究体特任教授(兼任)
2021年4月-現在	東京大学次世代都市国際連携研究機構 特任教授(兼任)

Aug. 2001-Apr. 2005 Assistant Professor, Department of Civil Engineering, Graduate School of Science and Engineering, Tokyo Institute of Technology

May 2005-Mar. 2007 Associate Professor, Department of Civil Engineering, Graduate School of Science and Engineering, Tokyo Institute of Technology

Apr. 2007-Apr. 2008 Visiting Researcher, Danish Transport Research Institute / Department for Transport, Technical University of Denmark

Apr. 2007-Mar. 2016 Associate Professor, Department of Civil Engineering, Graduate School of Science and Engineering, Tokyo Institute of Technology

Sept. 2011-Nov. 2011 Visiting Researcher, Center for Transport Studies, Imperial College London

Mar. 2016-Mar. 2020 Associate Professor, Department of Civil and Environmental Engineering, School of Environment and Society, Tokyo Institute of Technology

July 2016-Present Research Advisor, Japan Transport and Tourism Research Institute, Japan

Apr. 2020-Present Professor, Department of Civil Engineering, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo

Apr. 2020-Mar. 2023 Adjunct Professor, Department of Civil and Environmental Engineering, School of Environment and Society, Tokyo Institute of Technology

Apr 2020-Mar 2023 Specially Appointed Professor, Urban Redesign Unit, The University of Tokyo  
 Oct. 2020-Mar. 2023 Specially Appointed Professor, Research Group for Next Generation Urban and Transportation Design, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo  
 Apr. 2021-Present Specially Appointed Professor, International Institute for Next Urban Planning, Design and Management, The University of Tokyo

#### 学歴 (Educational Background)

1997年3月 東京大学 工学部 土木工学科 卒業  
 1999年3月 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤工学専攻 修士課程 修了  
 2001年7月 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤工学専攻 博士課程 中途退学  
 2004年3月 博士(工学)[東京大学]「社会的相互作用が交通行動に及ぼす影響のマイクロ計量分析」

#### 研究助成等 [代表] (Funding [Principal Investigator])

1. 2002-2003年 日本学術振興会・科学研究費若手研究(B)[代表]「社会的相互作用を考慮した選択行動モデルの構築と交通政策評価への適用可能性の検討」(1,800千円)
2. 2004-2005年 日本学術振興会・科学研究費若手研究(B)[代表]「環境配慮的な交通行動規範の成立可能性に関するマイクロ計量分析」(2,200千円)
3. 2004年 (社)土木学会学術交流基金助成金[代表](200千円)
4. 2006-2007年 (財)みずほ学術振興財団助成金[代表]「アクティブシニアの交通・消費行動把握のための世帯内活動時間配分モデルの開発」(1,200千円)
5. 2006-2007年 (財)安藤記念財団助成金[代表]「世帯内活動時間配分モデルに基づいたアクティブシニアの交通行動分析と公共交通利用促進方策の検討」(1,000千円)
6. 2006-2007年 日本学術振興会・科学研究費若手研究(B)[代表]「アクティブシニアのための交通・消費行動把握のための世帯内活動時間配分モデルの開発」(2,400千円)
7. 2007-2008年 (財)鹿島学術振興財団助成金[代表]「ノンパラメトリック統計技法に基づいた交通時間価値分布の推計に関する研究」(3,700千円)
8. 2008-2009年 日本学術振興会・科学研究費若手研究(B)[代表]「交通システムの時間信頼性評価値に関する理論・実証研究」(3,850千円)
9. 2008年 (独)日本学術振興会国際学会等派遣事業[代表] (400千円)
10. 2008年 東京工業大学大学院理工学研究科若手研究助成[代表] (1,500千円)
11. 2010-2011年 (財)高速道路調査会研究助成[代表]「高速道路ネットワークにおける旅行時間信頼性の経済評価に関する基礎的研究」(950千円)
12. 2010-2012年 (財)国土技術研究センター研究助成[代表]「都市内道路ネットワークにおける旅行時間の信頼性：プローブカーデータを用いた社会的費用の計測と最適な経路誘導に関する研究」(2,000千円)
13. 2010年 (独)日本学術振興会国際学会等派遣事業[代表] (250千円)
14. 2011-2012年 日本学術振興会・科学研究費若手研究(B)[代表]「旅行時間信頼性の経済評価：統合的な利用者行動モデルを基礎とした理論・実証研究」(4,030千円)
15. 2012-2014年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[代表]「道路の旅行時間信頼性の評価と運用に係る研究開発—経済便益計測手法の提案と経路誘導システムの構築—」(34,000千円)
16. 2013-2016年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[代表]「都市内交通システムにおける旅行時間信頼性の評価・運用方法の体系化」(17,160千円)
17. 2013年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「旅行時間信頼性の経済評価方法に関する研究」(850千円)
18. 2014年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「旅行時間信頼性の経済評価方法の検討」(850千円)
19. 2015-2017年 (一財)計量計画研究所フェローシップ[代表]「環境首都ストックホルムの持続可能な都市の取り組み」(3,000千円)
20. 2015年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「旅行時間信頼性と利用者行動」(850千円)
21. 2016-2019年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[代表]「ETC2.0プローブ情報等を活用した“データ駆動型”交通需要・空間マネジメントに関する研究開発」(93,000千円)
22. 2016年 交通工学研究会・受託研究[代表]「時間信頼性によるETC2.0情報の魅力創出に関する検討業務」(5,384千円)

23. 2016年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「旅行時間信頼性の経済評価方法論の展開」(850千円)
24. 2017-2018年 日本学術振興会・科学研究費挑戦的研究(萌芽)[代表]「自動運転技術の市場普及とその社会的影響:交通工学と交通経済学の融合アプローチ」(4,420千円)
25. 2017-2019年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[代表]「高頻度運行都市鉄道システムの統合解析モデルの構築」(11,900千円)
26. 2017年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「旅行時間信頼性の向上に資する交通政策の検討」(850千円)
27. 2018年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「高速道路料金施策効果に関するエビデンスベース分析」(946千円)
28. 2019年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「完全自動運転ライドシェアシステム利用意向の規定要因分析」(946千円)
29. 2020年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「電気自動車充電施設の配置を考慮した交通ネットワーク運用に関する研究」(970千円)
30. 2020-2022年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[代表]「交通渋滞マネジメントのためのビリーフデザインアプローチ」(15,600千円)
31. 2021-2023年 (財)国土技術研究センター研究助成[代表]「近未来交通システム導入時の道路空間再配分に関する数理モデル研究」(4,000千円)
32. 2021年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「サブスクリプション型MaaSのバンドリングに関する交通行動モデル研究」(970千円)
33. 2022年 日本交通政策研究会・自主研究[代表]「観光地における混雑課金政策導入評価のための移動・活動シミュレーションに関する研究」(990千円)
34. 2022年 運輸総合研究所・委託研究 [代表]「Uberが日本国内で行ったタクシー運賃の割引実証実験の結果を踏まえたタクシーにおけるダイナミックプライシング導入の効果分析」(1,600千円)
35. 2023-2025年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[代表]「リモート化が交通システムや都市空間構造に及ぼす影響の解析と社会厚生の評価」(11,700千円)

#### 研究助成等 [分担] (Funding [Co-Investigator])

1. 2002-2003年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(C)[分担]「確率的動的計画法から見たインフラ資産管理」(代表:上田孝行)
2. 2003-2004年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(C)[分担]「休日の余暇活動時間価値の計測手法の体系化と実用化に向けた総合的研究」(代表:屋井鉄雄)
3. 2005-2007年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[分担]「市民参画型道路計画体系の提案と道路網計画における対話技術の開発」(代表:屋井鉄雄)
4. 2006-2007年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(C)[分担]「次世代型道路の潜在多重ハザードモデリングとバイオフィードバックコンソールの開発」(代表:屋井鉄雄)
5. 2008-2010年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「ペリラスバイク・ディテクターの新設計開発とその実用性」(代表:屋井鉄雄)
6. 2008年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「道路交通センサデータをを用いた世帯の自動車複数保有及び利用構造の分析」(代表:兵藤哲朗)
7. 2009-2011年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[分担]「複合データによる道路サービス・パフォーマンス情報システムの研究開発」(代表:石田東生)
8. 2009年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「プローブデータを用いた貨物車の走行特性に関する研究」(代表:兵藤哲朗)
9. 2011年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「我が国の自動車交通需要の動向に関するマクロ統計分析」(代表:兵藤哲朗)
10. 2012-2014年 環境省・環境経済の政策研究[分担]「地方公共団体における地球温暖化対策実行計画等の実施に伴う環境・経済・社会への影響分析」(代表:小池淳司)
11. 2012年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「最新の統計データに基づく自動車保有並びに利用動向の検討」(代表:兵藤哲朗)
12. 2013-2014年 日本学術振興会・科学研究費挑戦的研究(萌芽)[分担]「データ同化とシミュレーションによる交通状態のリアルタイム推定」(代表:朝倉康夫)

13. 2013-2015年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「データ同化による交通現象の解析と交通調査・マネジメントへの展開」(代表:佐々木邦明)
14. 2013-2015年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「統合型GHG排出量推計モデルによるアジアにおける気候変動適応型国際航空政策の評価」(代表:平田輝満)
15. 2013-2016年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(A)[分担]「ネットワーク上の交通行動を記述するためのデータ統合理論とその応用」(代表:羽藤英二)
16. 2013-2016年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(A)[分担]「交通ネットワークのリスクマネジメントのための動的行動・交通流解析理論の構築」(代表:朝倉康夫)
17. 2013-2018年 東京工業大学AESセンター・東芝スマート都市インフラシステム共同研究部門[分担](代表:屋井鉄雄)
18. 2013年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「自動車保有・利用構造および燃費決定要因に関する研究」(代表:兵藤哲朗)
19. 2014-2016年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「Complex Transit Fare Structures: Modelling and Potential Impacts」(代表:Schmöcker, Jan-Dirk)
20. 2014-2016年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「交通関連調査体系の再構築と政策評価への展開」(代表:石田東生)
21. 2014年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「自動車の保有と利用に関する多時点統計分析」(代表:兵藤哲朗)
22. 2015-2018年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[分担]「多様な観測データの活用による道路情報提供の研究開発」(代表:佐々木邦明)
23. 2015-2018年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(A)[分担]「アジア中規模都市におけるパラトランジット〜次世代交通の調和型計画・事業の促進策」(代表:屋井鉄雄)
24. 2017-2020年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(A)[分担]「巨大災害時の広域交通ネットワークの運用に関する数理モデル研究」(代表:朝倉康夫)
25. 2017年 日本交通政策研究会・自主研究[分担]「自動車の保有と利用に関する多時点統計分析」(代表:兵藤哲朗)
26. 2018-2020年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[分担]「学習型モニタリング・交通流動予測に基づく観光渋滞マネジメントについての研究開発」(代表:布施孝志)
27. 2019-2022年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[分担]「マルチスケールな交通連携を想定した拠点配置と交通マネジメントについての技術研究開発」(代表:日下部貴彦)
28. 2020-2022年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「網羅的シミュレーションと機械学習を用いた精度の高い短期交通需要予測手法の開発」(代表:佐々木邦明)
29. 2020-2022年 日本学術振興会・科学研究費基盤研究(B)[分担]「ARI構築に向けたエネルギー統合型道路の計画デザイン研究」(代表:屋井鉄雄)
30. 2022-2024年 国土交通省・道路政策の質の向上に資する技術研究開発[分担]「道路整備による走行時間短縮便益等を把握する手法についての技術研究開発」(代表:加藤浩徳)

#### 講義・実験・演習等 (Teaching)

1. 東京工業大学工学部土木(・環境)工学科「土木施設計画設計B」, 2001.10-2014.3.
2. 東京工業大学工学部土木工学科「測量学実習」, 2001.10-2005.3, 2012.4-2015.3.
3. 東京工業大学工学部土木工学科「土木工学コロキウム」, 2002.4-2006.3.
4. 東京工業大学第六類「六類特別講義(Fゼミ)」, 2002.4-2016.3.
5. 東京工業大学工学部土木(・環境)工学科「インフラストラクチャーの計画と設計」, 2005.4-2015.3.
6. 東京工業大学工学部土木(・環境)工学科「基礎統計解析」, 2005.5-2007.3.
7. 東京工業大学工学部土木(・環境)工学科「土木計画の理論と数理」, 2007.4-2015.3.
8. 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻「土木・交通計画のための数理分析特論[Advanced Mathematical Methods for Infrastructure and Transportation Planning, 隔年英語開講]」, 2005.4-2014.3. (「選択行動の数理モデル[Mathematical Modeling of Choice Behavior]」, 2015.5-2022.7に承継)
9. 東京工業大学工学部土木(・環境)工学科/環境・社会理工学院土木・環境工学系「公共経済学」, 2006.4-2023.3.

10. 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻,「交通計画特論[Advanced Transportation Planning, 隔年英語開講]」, 2006.4-2010.3.
11. 東京工業大学工学部土木・環境工学科「工学と環境」, 2009.4-2016.3.
12. 東京工業大学工学部土木・環境工学科「環境シレンマ論」, 2009.4-2010.3.
13. 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻/環境・社会理工学院土木・環境工学系「Transportation Economics[英語開講]」, 2011.10-2020.3.
14. 東京工業大学大学院総合理工学研究科/環境・社会理工学院融合理工学系「都市環境学概論[Urban Environment, 隔年英語開講]」, 2012.4-2017.3.
15. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「Mathematical Modeling of Individual Choice Behavior[英語開講]」, 2015.4-2020.8.
16. 東京工業大学第六類「六類専門基礎1(VI)」, 2016.4-2019.3.
17. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「土木計画学基礎」, 2016.4-2022.8.
18. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「社会基盤と環境-概論」, 2016.4-2020.3.
19. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「都市・交通計画プロジェクト演習」, 2016.4-2020.8.
20. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「土木工学におけるデザイン事例1」, 2016.4-2020.3.
21. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「土木工学におけるデザイン事例2」, 2016.4-2020.3.
22. 東京工業大学環境・社会理工学院ノンディグリープログラム「高次システム化対応教育プログラム」, 2017.10-2019.3.
23. 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系「研究プロジェクト」, 2018.10-2020.3.
24. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学/建築学/都市工学専攻「復興デザインスタジオ」, 2020.4-.
25. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学/建築学/都市工学専攻「復興デザイン学」, 2020.4-.
26. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学/建築学/都市工学専攻「復興デザイン社会接続演習」, 2020.4-.
27. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学/建築学/都市工学専攻「復興デザインコロキウム」, 2020.4-.
28. 東京大学教養学部「社会システム工学基礎」(東京のインフラストラクチャー), 2020.4-.
29. 東京大学工学部社会基盤学科「国際プロジェクト序論」, 2020.10-.
30. 東京大学教養学部「現代工学基礎」(社会イノベーションと国際プロジェクト), 2021.4-.
31. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻「社会基盤技術者のための経済学 (Economics for Civil Engineers)[英語開講]」, 2021.10-.
32. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻「インフラプロジェクト・政策評価のための実証分析 (Empirical Analysis for Infrastructure Project/Policy Evaluation)[英語開講]」, 2022.4-.
33. 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学/建築学/都市工学専攻「ポストパンデミック時代の都市論 (Urban Studies in the Post-Pandemic Era)[英語開講]」, 2021.10-.

#### 非常勤講師等 (Part-Time Teaching)

1. 東京工業大学附属科学技術高等学校「人と技術」, 2006.4-2006.9.
2. 国際協力機構・課題別研修「総合都市交通計画コース」, 一般財団法人国土計画協会, 2015.10-2019.11.
3. 東京都立大学「政策評価・経済分析」, 2022.4-2022.8.

#### 所属学会 (Academic Society)

1. 土木学会
2. 交通工学研究会
3. 日本都市計画学会
4. 応用地域学会
5. アジア交通学会
6. 日本交通政策研究会
7. 情報処理学会
8. International Transport Economics Association (ITEA)

#### 学協会役員等 (Board Member in Academic Society)

1. International Federation for Housing and Planning(国際住宅・都市計画連合: IFHP), 評議員, 2017-2022.

#### 学会活動・学会誌・国際的学術雑誌編集委員等 (Academic Activities and Editorial Board Members)

1. Eastern Asia Society for Transportation Studies, Member of Secretariat Office, 2002-.
2. 土木学会, 全国大会プログラム編成委員会, 委員, 2004-2006.
3. 土木学会, 土木計画学研究委員会学術小委員会, 委員, 2006-2008.
4. 土木学会, 土木計画学研究委員会, 幹事, 2008-2009.
5. 土木学会, 調査研究部門会議, 部門幹事, 2010-2011.
6. 土木学会, 研究企画委員会, 幹事長, 2012-2013.
7. 土木学会, 調査研究部門, 代表幹事, 2012-2013.
8. 土木学会, 100周年記念事業 未来のT&Iコンテスト準備委員会, 委員, 2013-2014.
9. 日本都市計画学会, 都市計画学会誌編集委員会, 委員, 2013-2017.
10. 土木学会, 土木計画学研究委員会, 幹事, 2014-2015.
11. 土木学会, 土木計画学研究委員会学術小委員会, 幹事長, 2014-2016.
12. 土木学会, 論文集編集委員会D3分冊編集小委員会, 幹事・幹事長, 2017-2019.
13. 土木学会, 未来土木コンテスト, 運営委員, 2017-2018.
14. 計画・交通研究会, 会報編集委員会委員, 2018-
15. 交通工学研究会, 第2学術小委員会, 委員, 2018-2022.
16. 土木学会, 土木計画学研究委員会学術小委員会, 特別委員, 2019.
17. 土木学会, 企画委員会, 副幹事長, 2020-2021.
18. Editorial Board, International Journal of Intelligent Transportation Systems Research, 2021-.
19. 土木学会, 企画委員会, 幹事長, 2021-.
20. 復興デザイン研究体, 幹事長, 2022-.
21. 土木学会, 土木計画学研究委員会, 幹事長, 2023-.
22. Eastern Asia Society for Transportation Studies, Treasurer, 2023-.
23. EASTS-JAPAN, 事務局長, 2023-.

#### 学内における管理運営等の活動 (Administrative Roles in University)

1. 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学科長, 2008-2010.
2. 東京工業大学ものづくり教育研究支援センター, 副センター長, 2008-2012.

#### 指導学生と学位論文 (Supervised Students and Thesis Titles)

1. Yuting Lee: Optimal traffic information design to alleviate oscillation in networks (仮), 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2022.4-2023.3
2. 江橋恭士朗: リアルタイム交通異常検出手法の高度化と都市間高速道路交通マネジメントへの活用(仮), 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2022.4-
3. 長谷川啓太: 定量的空間経済学に基づく国土構造評価フレームの構築(仮), 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2022.4-
4. Krittanai Sriwongphanawes: Data-driven optimal pricing for transport network company (仮), 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2021.10-
5. Chee Yung Lo: Data assimilation methodology for the large-scale activity-travel simulator and the mobile phone based location data (仮), 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2021.10-
6. 中村香里: 被災者の従前生活構造を考慮した災害公営住宅割り当てモデルに関する研究, 東京大学工学部社会基盤学科, 学士, 2022.4-2023.3
7. 田端俊也: 災害リスク認知バイアスが都市空間構造に及ぼす影響, 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2021.4-2023.3
8. 荒井悠樹: ドライバーの情報獲得過程を考慮した経路選択行動分析, 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2021.4-2023.3
9. 羽間真奈実: 人流ビッグデータを用いた, 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻, 修士, 2021.4-2023.3
10. 江橋恭士朗: 自己実現シグナルに基づく交通情報提供方法に関するオンライン実験研究, 東京大学工学部社会基盤学科, 学士, 2021.4-2022.3.

11. 長谷川啓太: 定量的空間経済学に基づく我が国のPlace-Based Policyの事後評価, 東京大学工学部社会基盤学科, 学士, 2021.4-2022.3.
12. 鵜飼健太: 情報デザインを用いた交通マネジメントに関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2020.4-2022.3.
13. 木村慧留: 都市鉄道の需要構造変化を踏まえた時間帯別課金シミュレーションに関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2020.4-2022.3.
14. 櫻井陸斗: 観光地への混雑課金導入が周遊行動に与える影響の分析, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2020.4-2022.3.
15. 田淵景子: 都市型MaaSの導入が生活行動に与える影響とサブスクリプションプランの評価, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2020.4-2022.3.
16. 田端俊也: 狭域通信システムを用いたリアルタイム交通異常検出に関する研究, 東京大学工学部社会基盤学科, 学士, 2020.4-2021.3.
17. 五百蔵夏穂: 混雑を考慮した観光地における周遊行動モデルに関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2018.4-2021.3.
18. 北侑祐: Urban Air Mobilityサービスの最適運用に関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2019.4-2021.3.
19. 清水裕斗: 降雨が都市鉄道の列車遅延に及ぼす影響の分析, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2019.4-2021.3.
20. 岡英紀: 移動軌跡データと経路非列挙型行動モデルを用いた貨物車の都市内時空間流動パターンの分析, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース(社会人), 博士, 2017.9-2020.9.
21. Yingshuai Wang: Extracting tourists' travel patterns in Yaeyama Region with Wi-Fi and Bluetooth Data, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2018.9-2020.9.
22. 小川晃平: 多様なリアルタイムデータの活用を想定した短期観光交通混雑予測手法の検討: 鎌倉市を事例として, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2018.4-2020.3.
23. 河井智弘: 首都圏鉄道通勤者のサテライト型テレワーク利用意向と生活行動パターン変化に関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2018.4-2020.3.
24. 城間洋也: 電気自動車充電施設の配置が経路及び車種の選択に及ぼす影響, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2018.4-2020.3.
25. 室祥太郎: 高速鉄道の整備が産業の地域特化に与える影響, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2018.4-2020.3.
26. 鵜飼健太: 自己実現シグナルによる交通情報提供効果の実験研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系, 学士, 2019.4-2020.3.
27. 田淵景子: MaaS (Mobility as a Service) 導入評価のためのマルチモーダル経路選択モデルに関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系, 学士, 2019.4-2020.3.
28. Takao Dantsuji: Modeling and optimizing bi-modal transportation system in urban cities: A macroscopic approach, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 博士, 2016.9-2019.9.
29. Salsabila Panji Arum: Impacts of transit-oriented development and railway line specific effects on residential land value, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系都市・環境学コース, 修士, 2017.9-2019.9.
30. 今岡将大: 高頻度運行都市鉄道システムにおける列車-乗客の流率密度関係の検証, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2017.9-2019.3.
31. 金子法子: Optimal congestion tolling under Markovian route choice decision, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系都市・環境学コース, 修士, 2016.4-2019.3.
32. 鈴木新: 旅客の周遊行動を考慮した都市間交通ネットワークの最適化, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2017.4-2019.3.
33. 平林新: 空間相関を考慮した歩行者流の速度-密度関係の分布パターンの抽出, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系都市・環境学コース, 修士, 2017.4-2019.3.
34. Azarel Chamorro Obra: Impacts of an economic incentive for intercity peer-to-peer ride-sharing in sparsely populated areas, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2016.9-2018.9.
35. 北侑祐: 完全自動運転ライドシェアシステム利用意向の規定要因分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2018.4-2019.3.



36. 阿部紘之: ライフイベントが世帯の自動車保有状況に及ぼす影響のモデル分析, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2016.4-2018.3.
37. 小林巴奈: Wi-Fiパケットセンサーを用いた長期・広域観光周遊パターン行動のモデリング, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2016.4-2018.3.
38. 篠原丈実: トリップチェーンを考慮した貨物車の都市内移動パターンのモデル分析, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2016.4-2018.3.
39. 都留崇弘: 詳細空間メッシュ単位での小売店舗立地・撤退予測モデルに関する研究, 東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系土木工学コース, 修士, 2016.4-2018.3.
40. 五百蔵夏穂: Wi-Fiパケットセンシングによる長期・広域観光周遊パターンの特徴抽出, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2017.4-2018.3.
41. 城間洋也: 首都圏における高速道路料金施策導入効果のエビデンス・ベース分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2017.4-2018.3.
42. Qian Ge: Data-driven and macroscopic approaches for estimating origin-destination travel demand, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 博士, 2014.4-2017.3.
43. Gaoqi Wang: Destination choice modeling for discretionary activities of Tokyo rail passengers, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2014.4-2017.3.
44. 水口正教: 旅行時間変動の面的な評価方法及び交通制御方策に関する研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2015.10-2017.3.
45. Takao Dantsuji: Evaluation of the dedicated bus lanes in urban-scale network by MFD-based Approach, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2014.4-2016.9.
46. 今岡将大: 混雑と経路重複を考慮した首都圏鉄道における乗客配分に関する研究, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2016.4-2017.9.
47. 鈴木新: 複数データの融合による都市間旅客流動の把握方法に関する研究, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2016.4-2017.3.
48. Yu Xiao: Valuing travel time reliability: individual, system and dynamic perspectives, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 博士, 2013.4-2016.3.
49. 亀谷淳平: 鉄道利用者を対象としたActivity-based交通行動モデルに関する研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2014.4-2016.3.
50. 菊池恵和: 都市鉄道における列車遅延現象の確率的特性の分析, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2014.4-2016.3.
51. 篠原丈実: 物流施設の立地先・立地量の同時決定モデルの構築, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2015.4-2016.3.
52. 都留崇弘: 都市鉄道の運賃共通化検討のための利用者行動分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2015.4-2016.3.
53. 坂東徹: 東南アジア中規模都市における次世代公共交通の利用意向に関する研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2013.4-2015.3.
54. 伊藤海優: Hyperpathに基づく遅刻リスク回避型経路誘導システムの構築と検証, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2013.4-2015.3.
55. 眞貝憲史: Hyperpathに基づく遅刻リスク回避型経路選択を考慮した交通ネットワークフロー分析, 東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻, 修士, 2013.4-2015.3.
56. 水口正教: 高速道路交通量変動の長期時系列分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2014.4-2015.9.
57. 藤田亮祐: 電力供給ネットワークの脆弱性に関するモデル分析, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2012.4-2014.3.
58. 遠藤壮一郎: 自然災害とマクロ経済成長の関連性についてのモデル分析, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2012.4-2014.3.
59. Chaoda Xie: The departure time choice of railway passengers and the effects of peak shifting policy in Tokyo Metropolitan Area, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2012.4-2014.3.
60. 福田剛之: 複数空港圏における旅行者の空港—アクセス手段同時選択行動の分析, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2011.4-2013.9.

61. 亀谷淳平:解析的積分近似に基づくプロビット型鉄道経路選択モデルに関する研究, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2013.4-2014.3.
62. 菊池恵和:都市鉄道におけるホームドア設置が列車遅延に及ぼす影響のモデル分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2013.9-2014.3.
63. Hideki Yaginuma: Development of a model for frequency-based transit route assignment and a model of pedestrian walking behavior inside stations for mitigation of urban rail congestion (英語論文), 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 博士, 2013.3(学位審査等取扱要項第22条適用).
64. Jiangshan Ma: Hyperpath-based strategic route guidance considering travel time uncertainty, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 博士, 2009.9-2012.9.
65. 石井良治:国土構造と災害脆弱性に関する数理的研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2011.4-2013.3.
66. 山田薫:リスク回避型経路誘導がネットワーク交通流に及ぼす影響, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2010.4-2013.3.
67. Yu Xiao: Identifying the distribution of value of travel time with a monotonic nonparametric estimator, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2010.9-2012.9.
68. Zihan Hong: Traffic state estimation with data assimilation and its application to metropolitan expressway, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2010.9-2012.9.
69. 伊藤海優:世帯における自動車保有・利用行動の動的分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2012.4-2013.3.
70. 坂東徹:都市構造が個人の交通行動に及ぼす影響の分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2012.4-2013.3.
71. 伊藤愛実:高速道路における旅行時間信頼性向上便益の推計方法に関する研究, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2011.4-2012.3.
72. 藤田亮祐:計画停電が首都圏鉄道ネットワークの利便性に及ぼした影響のモデル分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2011.4-2012.3.
73. 渡邊望:発言と離脱手段を通じた地域コミュニティ活性化に関する実証研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2009.4-2011.3.
74. 小林迪子:我が国の自動車交通需要の動向に関する地域別マクロ分析, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2009.4-2011.3.
75. 森浩介:旅行時間信頼性を考慮した貨物車の経路選択行動に関する研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2009.4-2011.3.
76. 斎藤洋平:鉄道相互直通運転と列車遅延に関する基礎的研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2009.4-2011.3.
77. 福田剛之:ダツカ都市圏における交通手段選択行動の分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2010.4-2011.3.
78. 瀬尾亨:駅空間におけるPlan-Actionを考慮した歩行者挙動モデリング, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2010.4-2011.3.
79. 石井良治:ETC導入が高速道路交通に与えた影響のマクロ分析, 東京工業大学工学部土木・環境工学科, 学士, 2010.4-2011.3.
80. Grace Uayan Padayhag: Potential effects of information and communication technology (ICT) and social dimension on travel behavior, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 博士, 2007.9-2010.9.
81. 高橋茜:選好意識調査と統合モデルを用いた所要時間信頼性価値の推計, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2008.4-2010.3.
82. 三木谷智:社会的ジレンマの観点に基づく放置駐輪削減施策の実証的研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2009.4-2010.3.
83. 松尾誠太郎:空港ターミナル内旅客移動の動線評価に関する研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2007.4-2010.3.
84. 島野和樹:ハイパーパス概念に基づく首都圏鉄道需要の分析, 東京工業大学工学部土木工学科, 学士, 2009.4-2010.3.

85. 山田薫: パーティクルフィルタを用いた歩行者追跡手法の精度検証, 東京工業大学工学部土木工学科, 学士, 2009.4-2010.3.
86. 松本治之: 道路所要時間の定刻性向上施策の経済評価に関する研究, 東京工業大学大学院理工学研究科(工学系)土木工学専攻, 修士, 2007.4-2009.3.
87. 小林迪子: 道路交通センサデータを用いた世帯の自動車複数保有及び利用構造の分析, 東京工業大学工学部土木工学科, 学士, 2008.4-2009.3.
88. 松山宜弘: 離散選択モデルを用いた歩行者挙動分析, 東京工業大学工学部土木工学科, 学士, 2008.4-2009.3.
89. 李楊: 自動車の実走行燃費マクロ推計モデルに関する研究, 東京工業大学工学部土木工学科, 学士, 2006.4-2007.9.
90. 松本治之: 新たな小型可搬式電動交通手段の利用意向に関する基礎的研究, 東京工業大学工学部土木工学科, 学士, 2006.4-2007.3.

#### 受賞 (Awards)

1. (一社)システム科学研究所 米谷・佐佐木賞(学位論文部門)「社会的相互作用が交通行動に及ぼす影響のミクロ計量分析」, 2006年11月.
2. 東京工業大学大学院理工学研究科 工系若手研究奨励賞「一般道路ネットワークにおける所要時間信頼性向上の経済評価手法」, 2008年9月.
3. 国土交通省道路局 道路政策の質の向上に資する技術研究開発 優秀技術研究開発賞「道路の旅行時間信頼性の評価と運用に係る研究開発」, 2015年10月(研究代表者).
4. 土木学会 土木計画学研究委員会 優秀論文賞「国別・産業部門別マクロ経済データを用いた自然災害と経済成長の関連性に関する実証分析」, 2016年11月(遠藤壮一郎氏と共同受賞).
5. 東京大学空間情報科学研究センター 全国共同利用研究発表大会(CSIS DAYS 2019) 優秀共同研究発表賞「LSTMの枠組みによる交通量短期予測の検討: 鎌倉市中心部を事例として」, 2019年11月(小川晃平氏と共同受賞).
6. 国土交通省道路局 道路政策の質の向上に資する技術研究開発 優秀技術研究開発賞「ETC2.0プローブ情報等を活用した“データ駆動型”交通需要・空間マネジメントに関する研究開発」, 2019年11月(研究代表者).
7. 国土交通省道路局 道路政策の質の向上に資する技術研究開発 優秀技術研究開発賞「多様な観測データの活用による道路交通施策評価のためのモデル開発」, 2019年11月(研究代表者: 佐々木邦明氏, 研究分担者として参画).
8. 東京都大田区 区政功労者表彰, 2020年3月(自転車等駐車対策協議会委員としての地域貢献に対して).
9. 土木学会 論文賞「2016年首都圏高速道路料金体系改定が交通需要に与えた影響」, 2021年5月(城間洋也氏と共同受賞).
10. 日本都市計画学会 年間優秀論文賞「再帰ロジット型交通行動モデルを用いたサブスクリプション型MaaSの評価に関する基礎的研究」, 2021年6月(田淵景子氏と共同受賞).
11. The 17th conference of the International Conference Series on Competition and Ownership in Land Passenger Transport (Thredbo 17) “Sustainable Innovation Award” for “Use of Public Transport and Social Capital Building—An Empirical Study of Japan”, September 2022. (Jointly awarded with Ziyi Qin).

#### 指導学生の受賞 (Awards for Supervised Students)

1. 山田薫, 東京工業大学大学院工学系研究科土木工学専攻修士論文 木村賞: リスク回避型経路誘導がネットワーク交通流に及ぼす影響, 2013年3月.
2. 柳沼秀樹, (一社)システム科学研究所 米谷・佐々木賞(学位論文部門)「都市鉄道混雑緩和のための頻度ベース経路配分モデル並びに駅構内歩行者挙動モデルの開発」, 2014年11月.
3. Ge Qian, The 16th Behavior in Networks Research Workshop, Best Research Award, Oct 2017.
4. Ge Qian, 東京工業大学「丘友」(土木工学科同窓会) 吉川・山口賞「Data-Driven and Macroscopic Approaches for Estimating Origin-Destination Travel Demand」, 2018年12月.
5. Ge Qian, 東京工業大学 手島精一記念研究賞 留学生研究賞 (Seiichi Tejima International Student Research Award), 2019年1月.
6. 壇辻貴生, (一社)システム科学研究所 米谷・佐々木賞(学位論文部門)「Modeling and Optimizing Bi-Modal Transportation System in Urban Cities: A Macroscopic Approach」, 2020年11月.

7. 壇辻貴生, 東京工業大学「丘友」(土木工学科同窓会) 吉川・山口賞「Modeling and Optimizing Bi-Modal Transportation System in Urban Cities: A Macroscopic Approach」, 2020年12月.
8. 清水裕斗, NTTデータ数理システム 2020年度学生研究奨励賞・最優秀賞「降雨が都市鉄道の列車遅延拡大に及ぼす影響～データ駆動型アプローチ」, 2021年1月.
9. 城間洋也, 土木学会 論文賞「2016年首都圏高速道路料金体系改定が交通需要に与えた影響」, 2021年5月(福田と共著).
10. 田淵景子, 日本都市計画学会 2020年年間優秀論文賞「再帰ロジック型交通行動モデルを用いたサブスクリプション型MaaSの評価に関する基礎的研究」, 2021年6月(福田と共著).
11. 壇辻貴生, 2021年度戦略的創造研究推進事業(ACT-X)採択「交通流理論と強化学習による都市交通システム最適化」2021年10月-2024年3月.
12. 岡英紀, (一社)システム科学研究所 米谷・佐々木賞(学位論文部門)「移動軌跡データと経路非列挙型行動モデルを用いた貨物車の都市内時空間流動パターンの分析」, 2021年11月.
13. 岡英紀, 東京工業大学「丘友」(土木工学科同窓会) 吉川・山口賞「移動軌跡データと経路非列挙型行動モデルを用いた貨物車の都市内時空間流動パターンの分析」, 2021年12月.
14. 長谷川啓太, 東京大学工学部社会基盤学科田辺賞「定量的空間経済学に基づく我が国のPlace-Based Policyの事後評価」2022年3月.

#### 投稿準備中・掲載準備中論文 (Paper in Progress)

1. Takao Dantsuji; Kashin Sughshita; Daisuke Fukuda. (minor revision) Understanding Changes in Travel Patterns during the COVID-19 Outbreak in the Three Major Metropolitan Areas of Japan. *Transportation Research Part A: Policy and Practice*.
2. Ryosuke Abe; Atsushi Niihara; Ryoma Gouto; Daisuke Fukuda (under review) Market potential of local/last-mile autonomous vehicles and their impact on rail travel in the Tokyo Metropolitan Area: A large-scale simulation incorporating stated preference. *Transportation*.
3. Yuki Oyama; Daisuke Fukuda, Naoto Imura and Katsuhiro Nishinari (under review) E-commerce users' preferences for delivery options. *Transportation Research Part E: Logistics and Transportation Review*.
4. Krittanai Sriwongphanawes and Daisuke Fukuda (under review): How does price affect the utilization of ridesourcing services: Evidence from Uber Japan's experiments. *EASTS Journal*.
5. Ryuichi Tani, Kenetsu Uchida and Daisuke Fukuda (under review): Tourist excursion model considering trip chain choice and duration of stay. *Asian Transport Studies*.
6. Atsushi Uechi, Daisuke Kamiya, Ryo Yamanaka, Daisuke Fukuda and Yoshiki Suga (under review): Evaluating the impacts of tourists on the island environments based on their stay time. *Proceedings of EASTS*.
7. Kenta Ukai and Daisuke Fukuda (in preparation): Traffic management based on information design. To be submitted to *Transportation Science*.
8. Daisuke Fukuda; Makoto Chikaraishi; Shinji Nakagawa; Tsuyoshi Ono (in preparation) A unified survey and estimation framework for valuing travel time reliability. To be submitted to *Transportation Research Part C: Emerging Technologies*.
9. Ryoji Ishii; Daisuke Fukuda; Hideki Yaginuma; Takahiko Kusakabe; Wataru Mogi; Atsushi Isono; Tsuyoshi Shibukawa; Hirotsugu Suenari; Ryuta Nishi; Shota Ito (in preparation) T-ACT: A large-scale activity-travel simulator for Tokyo Metropolitan Area. Working Paper.
10. Yamanaka Ryo; Daisuke Kamiya; Atsushi Uechi; Daisuke Fukuda (in preparation) Overseas visitors' travel behavior at a world natural heritage site analyzed using Wi-Fi packet sensors. Working Paper.
11. Daisuke Fukuda; Shiroma Hiroya. (in preparation) Tolls and traffic demand: Evidence from the 2016 toll reform scheme for the Metropolitan Tokyo urban expressway network. Working Paper.
12. Ryoji Ishii, Yuichi Mohri, Takahiro Ishigami; Daisuke Fukuda. (in preparation) Analysis of maintenance activities among child-rearing households in the Tokyo Metropolitan Area. Working Paper.
13. 柳沼秀樹, 日下部貴彦, 福田大輔, 鯉淵正裕, 高橋香織, 平哲治, 井上崇. (in preparation) ETC2.0プローブ通過情報を活用した道路交通状態のリアルタイム異常検知. Working Paper.

## 学術論文 (Journal Paper)

1. Takao Dantsuji; Yuki Takayama; Daisuke Fukuda. (2023) Perimeter control in a mixed bi-modal bathtub. *Transportation Research Part B: Methodological*. Vol. 173, pp. 267–291.  
<https://doi.org/10.1016/j.trb.2023.05.003>
2. **福田大輔**, 城間洋也. (2023) 離散選択モデル研究の最近の展開—異質性と摂動性の観点から—. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 78, No. 5, pp. L1–L20. [招待論文]  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.78.5.L1>
3. 長谷川啓太, **福田大輔**. (2023) 近年の我が国の地域間配分政策の事後評価: QSEアプローチによる検討. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 78, No. 5, pp. L163–L182.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.78.5.L163>
4. 田淵景子, **福田大輔**. (2023) 都市型MaaSの導入が生活行動に与える影響とサブスクリプションプランの評価: 東京都市圏におけるシミュレーション分析. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 78, No. 5, pp. L437–L447.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.78.5.L437>
5. 木村慧留, **福田大輔**. (2023) 都市鉄道の需要構造変化を踏まえた時間帯別課金シミュレーション. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 78, No. 5, pp. L919–L937.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.78.5.L919>
6. 小宮山茜, 佐々木邦明, **福田大輔**, 石井良治. (2023) 東京都市圏におけるアクティビティシミュレーションと観測データの融合手法. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 78, No. 5, pp. L553–L560.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.78.5.L553>
7. 櫻井陸斗, 五百蔵夏穂, **福田大輔**. (2023) 観光地への混雑課金導入が周遊行動に与える影響の分析. *交通工学論文集*. Vol. 9, No. 4, pp. A128–A137.  
<https://doi.org/10.14954/jste.9.4.A128>
8. 江橋恭士朗, **福田大輔**. (2023) 自己実現シグナルに基づく交通情報提供方法のオンライン実験研究. *交通工学論文集*. Vol. 9, No. 2, pp. A162–A170.  
<https://doi.org/10.14954/jste.9.2.A162>
9. Ziyi Qin and Daisuke Fukuda (2023) Use of Public Transport and Social Capital Building—An Empirical Study of Japan. *Research in Transportation Economics*. Vol. 99, Paper No. 101290.  
<https://doi.org/10.1016/j.retrec.2023.101290>
10. Ryosuke Abe; Atushi Niikura; Shin Takada; Daisuke Fukuda (2023) Impact of working from home on travel behavior of rail and car commuters: A case study in the Tokyo Metropolitan Area. *Case Studies on Transport Policy*. Vol. 11, Paper No. 100938.  
<https://doi.org/10.1016/j.cstp.2022.100938>
11. Nguyen Van Truong; Fukuda Daisuke. (2022) An analysis of overtourism policies in cities by combining quantitative and qualitative criteria. *Transport Policy Studies' Review (運輸政策研究)*. Vol. 24, pp. 6–18.  
[https://doi.org/10.24639/tpsr.TPSR\\_24R\\_01](https://doi.org/10.24639/tpsr.TPSR_24R_01)
12. Seo Toru; Wada Kentaro; Fukuda Daisuke. (2022) Fundamental diagram of urban rail transit considering train-passenger interaction. *Transportation*.  
<https://doi.org/10.1007/s11116-022-10281-0>
13. Takao Dantsuji; Fukuda Daisuke; Zheng Nan (2021) Simulation-based joint optimization framework for congestion mitigation in multimodal urban network: A macroscopic approach. *Transportation*. Vol. 48, pp. 673–697.  
<https://doi.org/10.1007/s11116-019-10074-y>
14. 城間洋也, **福田大輔**. (2021) 電気自動車充電施設の配置がドライバーの経路・車種選択に及ぼす影響の評価モデル. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 76, No. 5, pp. L847–L858.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.5.L847>
15. 小川晃平, **福田大輔**. (2021) 多変量LSTMによる短期交通量予測: 鎌倉市の観光交通を対象として. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 76, No. 5, pp. L1389–L1398.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.5.L1389>
16. 鵜飼健太, **福田大輔**. (2021) 自己実現シグナルによる交通情報提供効果に関する室内実験及びシミュレーション研究. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 76, No. 5, pp. L1497–L1506.

- [https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.5\\_1\\_1497](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.5_1_1497)
17. 田端俊也, 福田大輔. (2021) 狭域通信システムを用いたリアルタイム交通異常検出に関する基礎的研究. 信学技報, Vol. 120, No. 362, AI2020-34, pp. 60–65.  
<https://doi.org/10.14923/transfunj.AI2020-34>
  18. 馬渡真吾, 金子雄一郎, 福田大輔 (2021) 地方部における自動運転車両を活用した交通サービス導入の賛否意識に関する研究: 実験参加の影響と地域間の相違に着目した分析. 交通工学論文集. Vol. 7, No. 6, pp. 1–10.  
[https://doi.org/10.14954/jste.7.6\\_1](https://doi.org/10.14954/jste.7.6_1)
  19. 河井智弘, 福田大輔. (2020) 首都圏鉄道通勤者のサテライト型テレワーク利用意向と生活行動パターン変化に関する研究. 都市計画論文集. Vol. 55, No. 2, pp. 174–181.  
<https://doi.org/10.11361/journalcpj.55.174>
  20. Takao Dantsuji; Shin Hirabayashi; Qian Ge; Fukuda Daisuke. (2020) Cross comparison of spatial partitioning methods for an urban transportation network. *International Journal of Intelligent Transportation Systems Research*. Vol. 18, pp. 412–421.  
<https://doi.org/10.1007/s13177-019-00209-x>
  21. Xie Chaoda; Wang Xifu; Fukuda Daisuke. (2020). On the pricing of urban rail transit with track sharing freight service. *Sustainability*. Vol. 12, No. 7, 2758.  
<https://doi.org/10.3390/su12072758>
  22. Ge Qian; Fukuda, Daisuke; Han Ke; Song Wenjing (2020) Reservoir-based surrogate modeling of dynamic user equilibrium. *Transportation Research Part C: Emerging Technologies*. [Also presented at the 23rd International Symposium of Transport and Traffic Theory.] Vol. 113, pp. 350–369.  
<https://doi.org/10.1016/j.trc.2019.10.010>
  23. Abe Ryosuke; Kita Yusuke; Fukuda Daisuke. (2020) An experimental approach to understanding the impacts of monitoring methods on use intentions for autonomous mobility services: Survey evidence from Japan. *Sustainability*. Vol. 12, No. 6, 2157.  
<https://doi.org/10.3390/su12062157>
  24. Hideki Oka; Daisuke Fukuda; Takemi Shinohara. (2020) Tour pattern choice modelling and simulation of freight trucks in the Tokyo Metropolitan Area. *Procedia Computer Science*. [The 11th International Conference on Ambient Systems, Networks and Technologies (ANT) / The 3rd International Conference on Emerging Data and Industry 4.0 (EDI40) / Affiliated Workshops]. Vol. 170, pp. 708–713.  
<https://doi.org/10.1016/j.procs.2020.03.167>
  25. Azarel Chamorro-Obra; Daisuke Fukuda. (2020) Impacts of an economic incentive for intercity peer-to-peer ride-sharing in sparsely populated areas. *Asian Transport Studies*. Vol. 6, Paper No. 100008.  
<https://doi.org/10.1016/j.eastsj.2020.100008>
  26. Salsabila Panji Arum; Daisuke Fukuda. (2020) The impact of railway networks on residential land values within transit-oriented development areas. *Asian Transport Studies*. Vol. 6, Paper No. 100009.  
<https://doi.org/10.1016/j.eastsj.2020.100009>
  27. 田淵景子, 福田大輔. (2020) 再帰ロジック型交通行動モデルを用いたサブスクリプション型MaaSの評価に関する基礎的研究. 都市計画論文集. Vol. 55, No. 3, pp. 666–673.  
<https://doi.org/10.11361/journalcpj.55.666>
  28. 小林渉, 福田大輔, 岩倉成志. (2020) スケジュールリングアプローチによる都市鉄道の列車遅延及び定時性の経済評価. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol. 76, No. 3, pp. 236–250.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.3\\_236](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.3_236)
  29. 城間洋也, 福田大輔. (2020). 2016年首都圏高速道路料金体系改定が交通需要に与えた影響. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol. 76, No. 2, pp. 180–195.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.2\\_180](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.76.2_180)
  30. 日下部貴彦, 柳沼秀樹, 福田大輔, 佐野薫, 野村紗希子, 今健. (2020) 高速道路のSA・PAでの高速バス乗継サービス展開に向けたバス選択行動の分析. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol. 75, No. 6, pp. L369–L377.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.75.6\\_L369](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.75.6_L369)
  31. 城間洋也, 福田大輔, 岡英紀, 和泉範之. (2020) 複数データを用いた時間価値分布推計: 首都圏高速道路利用

- 者を対象とした実証分析. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol. 75, No. 6, pp. L405–L414.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.75.6.L405>
32. 壇辻貴生, 福田大輔. (2019) パイモータルシステムにおける動的エリア課金: 3D-MFDによるシミュレーションアプローチ. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol. 75, No. 5, pp. L1029–L1038.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.75.L1029>
33. Oka, Hideki; Hagino, Yasukatsu; Kenmochi, Takeshi; Tani, Ryota; Nishi, Ryuta; Endo, Kotaro; Fukuda, Daisuke (2019). Predicting travel pattern changes of freight trucks in the Tokyo Metropolitan Area based on the latest large-scale urban freight survey and route choice modeling. *Transportation Research Part E: Logistics and Transportation Review*. Vol. 129, pp. 305–324.  
<https://doi.org/10.1016/j.tre.2017.12.011>
34. Ge, Qian; Fukuda, Daisuke (2019) A macroscopic dynamic network loading model for multiple-reservoir system. *Transportation Research Part B: Methodological*. Vol. 126, pp. 502–527.  
<https://doi.org/10.1016/j.trb.2018.06.008>
35. Shinya Yamada; Masato Ishibe; Yoshihisa Yamashita; Daisuke Fukuda. (2019) Development of an activity-based model system for Tokyo Metropolitan urban rail planning. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 13, pp. 643–663.  
<https://doi.org/10.11175/easts.13.643>
36. 田中謙大, 神谷大介, 福田大輔, 五百蔵夏穂, 柳沼秀樹, 菅芳樹, 山中亮. (2019) Wi-Fiパケットセンサーを用いた沖縄本島における観光周遊行動の実態把握. 知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌). Vol. 31, No. 6, pp. 876–886.  
<https://doi.org/10.3156/jsoft.31.6.876>
37. 鈴木新, 山口裕通, 福田大輔 (2019) データ融合による日別・旅行目的別都市間旅客流動量推計. 運輸政策研究. Vol.21, pp. 48–59.  
[https://doi.org/10.24639/tpsr.TPSR\\_21R\\_07](https://doi.org/10.24639/tpsr.TPSR_21R_07)
38. 中西航, 小林巴奈, 都留崇弘, 松本拓朗, 田中謙大, 菅芳樹, 神谷大介, 福田大輔 (2018) Wi-Fiパケットセンサーによる観光周遊パターンの把握可能性: 沖縄・本部半島における検討. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol.74, No.5, pp. L787–L797.
39. 都留崇弘, 福田大輔, (2018). 地方都市における小売店舗の立地・撤退の規定要因に関する研究-基準地域メッシュ単位での検討. 都市計画論文集. Vol. 53, No. 3, pp. 1529–1536.  
<https://doi.org/10.11361/journalcpj.53.1529>
40. Dantsuji, Takao; Fukuda, Daisuke; Zheng, Nan (2018). A macroscopic approach for optimizing road space allocation of bus lanes in multimodal urban networks through simulation analysis: An application to the Tokyo CBD network. *Proceedings of the IEEE 20th International Conference on Intelligent Transportation Systems*, pp. 945–952.  
<https://doi.org/10.1109/ITSC.2017.8317936>
41. Kusakabe, Takahiko; Yaginuma, Hideki; Fukuda, Daisuke (2018). Estimation of bus passengers' waiting time at a coach terminal with Wi-Fi MAC addresses. *Transportation Research Procedia*. Vol. 32, pp. 62–68.  
<https://doi.org/10.1016/j.trpro.2018.10.012>
42. 力石真, 瀬谷創, 福田大輔 (2018) 社会的相互作用に着目したエビデンスベース研究の展開と土木計画への応用可能性. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol.74, No.5, pp. L715–L734.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.74.L715>
43. 岡英紀, 力石真, 田名部淳, 福田大輔, 大口敬 (2018) 車種及び距離帯を考慮した貨物車経路選択行動のモデル分析. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol.74, No.5, pp. L657–L666.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.74.L787>
44. 今岡将大, 福田大輔 (2018) 列車内混雑と経路重複を考慮した鉄道経路選択・乗客配分モデルに関する研究: 首都圏鉄道網におけるケーススタディ. 土木学会論文集D3(土木計画学). Vol.74, No.5, pp. L847–L857.  
<https://doi.org/10.2208/jsceijpm.74.L847>
45. Nakanishi, Wataru; Yamaguchi, Hiromichi; Fukuda, Daisuke (2018) Feature extraction of inter-region travel pattern using random matrix theory and mobile phone location data. *Transportation Research Procedia*.

[*International Symposium of Transport Simulation (ISTS'18) and the International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization (IWTDCS'18) Emerging Transport Technologies for Next Generation Mobility*]. Vol. 34, pp. 115–122.

<https://doi.org/10.1016/j.trpro.2018.11.022>

46. Kaneko, Noriko; Oka, Hideki; Chikaraishi, Makoto; Becker, Henrik; Fukuda, Daisuke (2018). Route choice analysis in the Tokyo Metropolitan Area using a link-based recursive logit model featuring link awareness. *Transportation Research Procedia*. [*International Symposium of Transport Simulation (ISTS'18) and the International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization (IWTDCS'18) Emerging Transport Technologies for Next Generation Mobility*]. Vol. 34, pp. 251–258.  
<https://doi.org/10.1016/j.trpro.2018.11.039>
47. **福田大輔, 水口正教, 瀬尾亨, 日下部貴彦, 朝倉康夫** (2017). **広域・長期観測プローブ情報を用いたエリアレベルでの旅行時間信頼性評価**. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 73, No. 5, pp. L1105–L1118.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.73.L\\_1105](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.73.L_1105)
48. Fukuda, Daisuke; Kobayashi, Hana; Nakanishi, Wataru; Suga, Yoshiki; Sriroongvikrai, Kerkritt; Kasem Choocharukul (2017). Estimation of paratransit passenger boarding/alighting locations using Wi-Fi based monitoring: Results of field testing in Krabi City, Thailand. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 12, pp. 2151–2169.  
<https://doi.org/10.11175/easts.12.2151>
49. **壇辻貴生, 杉下佳辰, 福田大輔, 浅野光行** (2017). **Wi-Fiパケットデータを用いた観光客の滞在時間特性把握の可能性に関する研究-奈良県長谷寺参道における試み-**. *都市計画論文集*. Vol. 52, No. 3, pp. 247–254.  
<https://doi.org/10.11361/journalcpj.52.247>
50. Iwase, Tatsuya; Tadokoro, Yukihiro; Fukuda, Daisuke (2017). Self-fulfilling signal of an endogenous state in network congestion games. *Networks and Spatial Economics*. Vol. 17, Issue 3, pp. 889–909.  
<https://doi.org/10.1007/s11067-017-9351-4>
51. Van, Hong Tan; Fukuda, Daisuke (2017). Determinants of intention to shift to a new high-quality bus service: A mixed logit model analysis for Ho Chi Minh City, Vietnam. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 12, pp. 2284–2298.  
<https://doi.org/10.11175/easts.12.2284>
52. Kato, Hironori; Fukuda, Daisuke; Yamashita, Yoshihisa; Iwakura, Seiji; Yai, Tetsuo (2017). Latest urban rail demand forecast model system in the Tokyo Metropolitan Area. *Transportation Research Record*. No. 2669, pp. 60–77.  
<https://doi.org/10.3141/2668-07>
53. **福田大輔, 遠藤壮一郎** (2016). **国別・産業部門別マクロ経済データを用いた自然災害と経済成長の関連性に関する実証分析**. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 72, No. 5, pp. L293–L303. [招待講演論文]  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.72.L\\_293](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.72.L_293)
54. Ge, Qian; Fukuda, Daisuke (2016). Updating origin-destination matrices with aggregated data of GPS traces. *Transportation Research Part C: Emerging Technologies*. Vol. 69, pp. 291–312.  
<https://doi.org/10.1016/j.trc.2016.06.002>
55. Bando, Tetsu; Fukuda, Daisuke; Wicaksono, Achamad; Wardani, Lila Kurnia (2015). Stated preference analysis for new public transport in a medium-sized Asian city: A case study in Malang, Indonesia. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 11, pp. 1451–1466.  
<https://doi.org/10.11175/easts.11.1451>
56. Muromachi, Yasunori; Lim, Iv; Wicaksono, Achamad; Vergel, Karl; Choocharukul, Tan, Van Hong; Terai, Kiyohisa; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2015). A comparative study on road-based urban public transport policies in six Asian countries from the viewpoint of governance, urban planning, and financial aspects. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 11, pp. 1433–1450.  
<https://doi.org/10.11175/easts.11.1433>
57. Wicaksono, Achamad; Lim, Iv; Muromachi, Yasunori; Vergel, Karl; Choocharukul, Kasem; Tan, Van Hong; Terai, Kiyohisa; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2015). Road-based urban public transport and paratransit in six Asian countries: Legal conditions and intermodal Issues. *Journal of the Eastern Asia Society for*



*Transportation Studies*. Vol. 11, pp. 227–242.

<https://doi.org/10.11175/easts.11.227>

58. Ma, Jiangshan; Fukuda, Daisuke (2015). A hyperpath-based network generalized extreme-value model for route choice under uncertainties. *Transportation Research Part C: Emerging Technologies*. Vol. 59, pp. 19–31. (Also, presented at the 21st International Symposium on Transportation and Traffic Theory [ISTTT21].)  
<https://doi.org/10.1016/j.trc.2015.05.015>
59. Xiao, Yu; Fukuda, Daisuke (2015). On the cost of misperceived travel time variability. *Transportation Research Part A: Policy and Practice*. Vol. 75, pp. 96–112.  
<https://doi.org/10.1016/j.tra.2015.03.014>
60. **福田大輔, 伊藤海優** (2014). 大規模パネルデータと動的離散-連続モデルによる世帯の自動車保有・利用構造の分析. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 70, No. 5, pp. L509–L520.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.70.l\\_509](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.70.l_509)
61. **福田大輔, 洪子涵, 岡本直久, 石田東生** (2014). 都市高速道路における交通状態推定問題およびセンサー配置問題に対するデータ同化アプローチ. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol.70, No. 5, pp. L1041–L1050.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.70.l\\_1041](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.70.l_1041)
62. Ma, Jiangshan; Fukuda, Daisuke (2014). A note on route planning in transportation with open sources, In: *CICTP 2014: Safe, Smart, and Sustainable Multimodal Transportation Systems* [Ma, J., Yin, Y., Huang, H. and Pan, D. (eds.)], American Society for Civil Engineers, pp. 277–288.  
<https://doi.org/10.1061/9780784413623.028>
63. Fukuda, Daisuke; Seo, Toru; Yamada, Kaoru; Yaginuma, Hideki; Matsuyama, Nobuhiro (2014). An econometric based pedestrian walking behaviour model implicitly considering strategic or tactical decisions. In: *Pedestrian and Evacuation Dynamics 2012* [Weldmann, U., Kirsch, U. and Schreckenberg, M. (eds.)]. Springer, pp. 615–624.  
[https://doi.org/10.1007/978-3-319-02447-9\\_51](https://doi.org/10.1007/978-3-319-02447-9_51)
64. Xie, Chaoda; Fukuda, Daisuke (2014). Scheduling preference modeling of rail passengers in the Tokyo Metropolitan Area and evaluation of time-varying fare policy for a congested urban railway line. *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Series D3 (Infrastructure Planning and Management)*. Vol. 70, No. 5, pp. L535–L548.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.70.l\\_535](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.70.l_535)
65. **福田大輔, 力石真** (2013). 離散-連続モデルの研究動向に関するレビュー. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 69, No. 5, pp. L497–L510.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.69.l\\_497](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.69.l_497)
66. Fukuda, Daisuke; Fujita, Ryosuke; Yaginuma Hideki (2013). Analyzing the effects of the rolling blackouts on railway service in the Tokyo Metropolitan Area after the 2011 Great East Japan Earthquake. *Journal of Japan Society of Civil Engineers*. Vol. 1, No. 1, pp. 479–489.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.69.l\\_497](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.69.l_497)
67. Yamada, Kaoru; Ma, Jiangshan; Fukuda, Daisuke (2013). Simulation analysis of the market diffusion effects of risk-averse route guidance on network traffic. *Procedia - Computer Science*. Vol. 19, pp. 874–881.  
<https://doi.org/10.1016/j.procs.2013.06.117>
68. Ma, Jiangshan; Fukuda, Daisuke; Schmöcker, Jan-Dirk (2013). Faster hyperpath generating algorithms for vehicle navigation. *Transportmetrica A: Transport Science*. Vol. 9, No. 10, pp. 925–948.  
<https://doi.org/10.1080/18128602.2012.719165>
69. **瀬尾亨, 柳沼秀樹, 福田大輔** (2012). Plan-Action構造を考慮した歩行者挙動モデリングとその適用一駅改札付近を対象として一. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 68, No. 5, pp. L679–L690.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.68.l\\_679](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.68.l_679)
70. Hong, Zihan; Fukuda, Daisuke (2012). Effects of traffic sensor location on traffic state estimation. *Procedia - Social and Behavioral Sciences*. Vol. 54, pp. 1186–1196.  
<https://doi.org/10.1016/j.sbspro.2012.09.833>
71. Fosgerau, Mogens; Fukuda, Daisuke (2012). Valuing travel time variability: Characteristics of the travel

- time distribution on an urban road. *Transportation Research Part C Emerging Technologies*. Vol. 24, pp. 83–101.  
<https://doi.org/10.1016/j.trc.2012.02.008>
72. Ben-Akiva, Moshe; de Palma, André; McFadden, Daniel; Abou-Zeid, Maya; Chiappori, Pierre Andre; de Lapparent, Matthieu; Durlauf, Steven; Fukuda, Daisuke; Fosgerau, Mogens; Hess, Stephane; Manski, Charles; Pakes, Ariel; Picard, Nathalie; Walker, Joan (2012). Process and context in choice models. *Marketing Letters*. Vol. 23, No. 2, pp. 439–456.  
<https://doi.org/10.1007/s11002-012-9180-7>
73. 羽鳥剛史, 福田大輔, 三木谷智, 藤井聡 (2012). モノに関する記憶の想起が愛着意識に及ぼす影響—自転車に対する愛着意識と放置駐輪問題を対象として. *科学・技術研究会*. Vol. 1, No. 2, pp. 107–114.  
<https://doi.org/10.11425/sst.1.107>
74. Fonzone, Achille; Schmöcker, Jan-Dirk; Ma, Jiangshan; Fukuda, Daisuke (2012). Link-based route choice considering risk aversion, disappointment and regret. *Transportation Research Record*. Vol. 2322, pp. 119–128.  
<https://doi.org/10.3141/2322-13>
75. Ohta, Hiroyuki; Matsumoto, Haruyuki; Fukuda, Daisuke; Fujii, Satoshi (2012). A comparative analysis of subjective quality of mobility between new portable electric transportation mode and walking. *International Journal of Vehicular Technology*. Article ID 876892, 6 pages.  
<https://doi.org/10.1155/2012/876892>
76. 羽鳥剛史, 三木谷智, 藤井聡, 福田大輔 (2011). 大規模放置駐輪問題を対象としたコミュニケーション施策の効果検証: JR東日本赤羽駅での取り組み. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 67, No. 5, pp. L967–L977.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.67.67\\_L\\_967](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.67.67_L_967)
77. 柳沼秀樹, 山田薫, 松山宜弘, 福田大輔 (2011). 離散選択型歩行者挙動モデル推定のための歩行者座標の自動抽出に関する基礎的研究. *土木学会論文集D3(土木計画学)*. Vol. 67, No. 5, pp. L787–L800.  
[https://doi.org/10.2208/jsceijpm.67.67\\_L\\_787](https://doi.org/10.2208/jsceijpm.67.67_L_787)
78. Padayhag, Grace; Schmöcker, Jan-Dirk; Fukuda, Daisuke (2011). Mobile phones and telecommuting: Effects on trips and tours of Londoners. *Journal of Transport and Land Use*. Vol. 4, No. 3, pp. 23–41.  
<https://doi.org/10.5198/jtlu.v4i3.200>
79. 石井良治, 福田大輔 (2011). 高速道路交通需要の料金弾力性に着目したETC導入の影響に関する実証的分析. 第31回交通工学研究発表会論文集. pp. 295–298.  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201202210918888588](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201202210918888588)
80. Padayhag, Grace; Fukuda, Daisuke (2011). Do ICT use and time planning affect travel behavior? – An empirical investigation in Metro Manila, Philippines. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 9, pp. 526–540.  
<https://doi.org/10.11175/easts.9.526>
81. Padayhag, Grace; Fukuda, Daisuke (2010). Effects of socialization on activity-travel behavior in developing countries: A case study of university students in Metro Manila. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 8, pp. 361–373.  
<https://doi.org/10.11175/easts.8.361>
82. 柳沼秀樹, 松山宜弘, 福田大輔 (2010). 障害物の視認性を考慮した離散選択型歩行者挙動モデルの構築. 第30回交通工学研究発表会論文集. pp. 337–341.  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201002259365466790](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201002259365466790)
83. Matsuo, Seitaro; Hatori, Tsuyoshi; Fukuda, Daisuke (2010). Evaluation of passenger flow lines in international airport terminals. *Selected Proceedings of the 12th World Conference on Transport Research*. Paper No. 02086.  
<http://www.wctrs-society.com/wp-content/uploads/abstracts/lisbon/selected/02086.pdf>
84. Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2010). Semiparametric specification of the utility function in a travel mode choice model. *Transportation*. Vol. 37, No. 2, pp. 221–238.  
<https://doi.org/10.1007/s11116-009-9253-5>
85. 福田大輔 (2010). 旅行時間変動の価値付けに関する研究展望とプロジェクト評価への適用に向けた課題の整

- 理. 土木計画学研究・論文集. Vol. 27, No. 3, pp. 437–448.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.27.437>
86. 三木谷智, 羽鳥剛史, 藤井聡, 福田大輔 (2010). 放置駐輪削減のための説得的コミュニケーション施策の集計的効果の検証: 東京工業大学大岡山キャンパスにおける実施事例. 土木計画学研究・論文集. Vol. 27, No. 4, pp. 757–765.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.27.757>
87. Monyrath, Kov; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2011). Optimizing frequency of bus services in mixed-traffic urban streets. *Asian Transport Studies*. Vol. 1, No. 4, pp. 352–367.  
<https://doi.org/10.11175/eastsats.1.352>
88. Ichimura, Tsuyoshi; Fukuda, Daisuke (2010). A fast algorithm for computing last-squares cross-validations for nonparametric conditional kernel density functions. *Computational Statistics and Data Analysis*. Vol. 54, No. 12, pp. 3404–3410.  
<https://doi.org/10.1016/j.csda.2009.08.021>
89. Padayhag, Grace; Fukuda, Daisuke (2009). Exploring the influence of social factors to travel: A perspective of university workers in Metro Manila, the Philippines. *Proceedings of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 7, pp. 114–127.
90. 小林迪子, 福田大輔, 兵藤哲朗, 田中倫英 (2009). 道路交通センサデータを用いた世帯の自動車複数保有及び利用構造の分析. 土木計画学研究・論文集. Vol. 26, No. 3, pp. 595–562.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.26.595>
91. Zhuang, Xiao Yun; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2007). Analyzing inter-regional travel mode choice behavior with multi nested generalized extreme value model. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 7, pp. 686–699.  
<https://doi.org/10.11175/easts.7.686>
92. Nepal, Kali Prasad; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2007). Incorporating differences in marginal utilities of time across activities in a time allocation model. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 7, pp. 499–514.  
<https://doi.org/10.11175/easts.7.499>
93. 福田大輔, 松村隆, 屋井鉄雄 (2007). 時間・費用制約下におけるシニア夫婦世帯の活動時間配分モデルに関する基礎的研究. 土木計画学研究・論文集. Vol. 24, No. 3, pp. 557–566.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.24.557>
94. Fukuda, Daisuke; Morichi, Shigeru (2007). Incorporating aggregate behavior in an individual's discrete choice: An application to analyzing illegal bicycle parking behavior. *Transportation Research Part A: Policy and Practice*. Vol. 41, pp. 313–325.  
<https://doi.org/10.1016/j.tra.2006.09.001>
95. 福田大輔, 庭田美穂, 屋井鉄雄 (2007). 疑問型表現自由回答データを用いた社会資本整備に対する市民の関心の抽出方法に関する基礎的研究. 土木計画学研究・論文集. Vol. 24, No. 1, pp. 131–140.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.24.139>
96. Udayasen, Pradtha; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2007). Stated preference analysis of air travelers' multiple-airport choice behavior in Tokyo Metropolitan Area. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 7, pp. 3028–3043.  
<https://doi.org/10.11175/easts.7.3028>
97. 鳥居広顕, 福田大輔, 屋井鉄雄 (2006). マイクロシミュレーションを活用した震災後道路ネットワークの容量分析. 第26回交通工学研究発表会論文集. pp. 777–779.  
<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/yailab/pdf/2005/torii200603.pdf>
98. 屋井鉄雄, 福田大輔, 根橋和也 (2006). 交通需要予測不信を巡る市民意識の分析. 土木学会論文集D(土木計画学). Vol. 62, No. 1, pp. 131–144.  
<https://doi.org/10.2208/jscejd.62.131>
99. 福田大輔, 渡部数樹, ネパールカリプサッド, 屋井鉄雄 (2005). 平日の時間利用評価が休日の時間配分及び活動時間価値形成に及ぼす影響. 土木計画学研究・論文集. Vol. 22, No. 3, pp. 421–429.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.22.421>

100. Nepal, Kali Prasad; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2005). Incorporating latent constructs in time allocation modelling: Application to value of activity time estimation. In: *Progress in Activity-Based Analysis* [H.J.P. Timmermans (ed.)]. Amsterdam: Pergamon, pp. 285–308.  
<https://books.emeraldinsight.com/page/detail/progress-in-activitybased-analysis-by-harry-timmermansProgress-in-Activity-Based-Analysis/?k=9780080445816>
101. Nepal, Kali Prasad; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2005). Microeconomic models of intra-household activity time allocations. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 6, pp. 1637–1650.  
<https://doi.org/10.11175/easts.6.1637>
102. Fukuda, Daisuke; Opachavalit, Narumol; Yai, Tetsuo (2004). Use of stated choice analysis to determine ETC in-vehicle transmitter purchasing behavior. *Journal of the Japan Society of Civil Engineers*. Vol. 2004, No. 772, pp. 227–238.  
[https://doi.org/10.2208/jscej.2004.772\\_227](https://doi.org/10.2208/jscej.2004.772_227)
103. **福田大輔, 渡邊健, 屋井鉄雄** (2004). 利用者間の相互依存性を考慮したETC車載器普及モデル. *土木計画学研究・論文集*. Vol. 21, No. 2, pp. 463–472.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.21.463>
104. **福田大輔, 上野博義, 森地茂** (2004). 社会的相互作用存在下での交通行動とマイクロ計量分析. *土木学会論文集*. Vol. 2004, No. 765, pp. 49–64.  
[https://doi.org/10.2208/jscej.2004.765\\_49](https://doi.org/10.2208/jscej.2004.765_49)
105. **多田直人, 森地茂, 福田大輔, 堤盛人** (2004). 公共事業の事業期間短縮による経済効果に関する研究. *土木学会論文集*. Vol. 2004, No.765 pp. 91–103.  
[https://doi.org/10.2208/jscej.2004.765\\_91](https://doi.org/10.2208/jscej.2004.765_91)
106. **白濱好文, 屋井鉄雄, 福田大輔, 神田学** (2004). マイクロシミュレーションを活用した交通と大気環境の広域評価システム. *土木学会論文集*. Vol. 2004, No. 772, pp. 115–130.  
[https://doi.org/10.2208/jscej.2004.772\\_115](https://doi.org/10.2208/jscej.2004.772_115)
107. Palmiano, Hilario Sean; Yai, Tetsuo; Ueda, Shimpei; Fukuda, Daisuke (2004). Analysis of delay caused by midblock jeepney stops with use of simulation. *Transportation Research Record*. Vol. 1884, pp. 65–74.  
<https://doi.org/10.3141/1884-08>
108. **上田新平, ヒラリオシャーンパルミアーノ, 福田大輔, 屋井鉄雄** (2003). ジブニーストップ付近の道路交通流シミュレーションシステムの開発. 第23回交通工学研究発表会論文報告集. pp. 173-176, 2003.  
<https://iss.ndl.go.jp/books/R000000004-I6751138-00>
109. **福田大輔, 吉野広郷, 屋井鉄雄, イルワンプラセティヨ** (2003). 休日のアクティビティに着目した活動時間価値の推定方法に関する研究. *土木学会論文集*. Vol. 2003, No.737, pp. 211–221.  
[https://doi.org/10.2208/jscej.2003.737\\_211](https://doi.org/10.2208/jscej.2003.737_211)
110. Prasetyo, Irwan; Yoshino, Hirosato; Fukuda, Daisuke; Yai, Tetsuo (2003). Time allocation modeling using combined utility maximization and activity choice approach for weekend travel in Tokyo. In: *New Development in Psychometrics* (H. Yanai, A. Okada, K. Shigemasa, Y. Kano. and J. J. Meulman [eds.]). Tokyo: Springer-Tokyo, pp. 561–568.  
[https://doi.org/10.1007/978-4-431-66996-8\\_64](https://doi.org/10.1007/978-4-431-66996-8_64)
111. Palmiano, Hilario Sean; Ueda, Shimpei; Yai, Tetsuo; Fukuda, Daisuke (2003). Development of a simulation system for jeepney stop vicinity located in front of a shopping center. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 5, pp. 163-178.  
<http://citeseerx.ist.psu.edu/viewdoc/summary?doi=10.1.1.564.2791>
112. Prasetyo, Irwan; Fukuda, Daisuke; Yoshino, Hirosato; Yai, Tetsuo (2003). Analysis of travel time saving benefit by understanding individual needs and value of activity time: Case study of Tokyo and Jakarta. *Transportation Research Record*. Vol. 1854, pp. 12–21.  
<https://doi.org/10.3141/1854-02>
113. **福田大輔, 森地茂** (2002). 選択肢の選別過程に関する実証比較分析: 交通手段選択行動を対象として. *土木計画学研究・論文集*. Vol. 19, No. 3, pp. 375–381.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.19.375>
114. D. Fukuda, E.H. Lee and S. Morichi (2001). Comparative study on discrete choice models with choice set

formation process: An application to travel mode choice. *Proceedings of the 9th World Conference on Transport Research*. Seoul.

115. 福田大輔, 森地茂 (2001). 選択行動間の相互依存性に着目した観光交通行動分析. *土木計画学研究・論文集*. Vol. 18, No. 3, pp. 553–561.  
<https://doi.org/10.2208/journalip.18.553>
116. Fukuda, Daisuke; Morichi, Shigeru (2001). Recreational demand model as a mixture of interrelated travel behaviors. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 4, pp. 47–62.  
<http://eastst.info/on-line/journal/vol4no2/42004.pdf>
117. Fukuda, Daisuke; Morichi, Shigeru (1999). Review on the arrangement of alternatives in discrete choice models and comparative studies in the recreational destination choice behavior. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol. 3, pp. 229–243.  
<http://eastst.info/on-line/journal/vol3no5/35018.pdf>

#### 国際会議発表

1. D. Fukuda and S. Morichi: Review on the arrangement of alternatives in discrete choice models and comparative studies in the recreational destination choice behavior. *The 3rd International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Taipei, 1999.
2. D. Fukuda and S. Morichi: Availability of individual choice models with large choice set: On the application to recreational destination choice behavior. *The First International Summer Symposium of Japan Society for Civil Engineers*. Tokyo, 1999.
3. S. Morichi, M. Tsutsumi, N. Tada and D. Fukuda: Social loss caused by delays in transport project implementation. *The 9th World Conference on Transport Research*. Seoul, 2001.
4. D. Fukuda and S. Morichi: Recreational demand model as a mixture of interrelated travel behaviors. *The 4th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Hanoi, 2001.
5. N. Opachavalit, D. Fukuda and T. Yai: Conjoint analysis for individuals' purchasing behavior of ETC in-vehicle transmitters. *The 82nd Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2003.
6. H.S. Palmiano, S. Ueda, T. Yai and D. Fukuda: Traffic simulation and impact analysis of mid-block jeepney stops in Metro Manila. *The 5th International Summer Symposium of Japan Society for Civil Engineers*. Tokyo, 2003.
7. H.S. Palmiano, S. Ueda, T. Yai and D. Fukuda: Development of a simulation system for jeepney stop vicinity located in front of a shopping center. *The 5th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Fukuoka, 2003.
8. I. Prasetyo, D. Fukuda, H. Yoshino and T. Yai: Analysis of travel time saving benefit by understanding individual needs and value of activity time: Case study of Tokyo and Jakarta. *The 82nd Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2003.
9. N. Opachavalit, D. Fukuda and T. Yai: Conjoint analysis for individuals' purchasing behavior of ETC in-vehicle transmitters. *The 4th Regional Symposium on Infrastructure Development*. Bangkok, 2003.
10. I. Prasetyo, T. Yai and D. Fukuda: Travel time saving benefit incorporating individual needs and value of activity time. *The 4th Regional Symposium on Infrastructure Development*. Bangkok, 2003.
11. Y. Shirahama, T. Yai, D. Fukuda and S. Tazaki: Integrated modelling system of traffic and air quality for wide area network using microscopic simulation. *The 83rd Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2004.
12. H.S. Palmiano, T. Yai, S. Ueda and D. Fukuda: Analysis of delay caused by midblock jeepney stops with use of simulation. *The 83rd Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2004.
13. K.P. Nepal, D. Fukuda and T. Yai: A combined time allocation model of utility maximization and discrete choice model of marginal extension activity choice with the focus on individuals' needs preferences. *The 10th World Conference on Transport Research*. Istanbul, 2004.
14. D. Fukuda and S. Morichi: Measuring and evaluating the effects of social interactions in a discrete choice framework: A pilot study examining bicycle parking behavior. *The 10th World Conference on Transport*

- Research. Istanbul, 2004.
15. K.P. Nepal, D. Fukuda and T. Yai: Combined time allocation model and latent variable model: Application to value of activity time estimation. *The 6th International Summer Symposium of Japan Society for Civil Engineers*. Saitama, 2004.
  16. K.P. Nepal, D. Fukuda and T. Yai: Incorporating latent constructs in activity time allocation modeling framework: Application to value of activity time (VOAT) estimation. *Conference on Progress in Activity-Based Analysis (by European Institute of Retailing and Services Studies)*. Maastricht, 2004.
  17. D. Fukuda and S. Morichi: Econometric analysis of illegal bicycle parking behavior with an empirical focus on measuring conformity effects. *The 84th Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2005.
  18. K.P. Nepal, D. Fukuda and T. Yai: Microeconomic models of intra-household activity time allocations. *The 6th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Bangkok, 2005.
  19. K.P. Nepal, D. Fukuda and T. Yai: From individual behavior to household behavior: Proportional activity time allocation model from SP and RP data sources. *The 7th International Summer Symposium of Japan Society for Civil Engineers*. Tokyo, 2005.
  20. D. Fukuda and T. Yai: Semiparametric specification of the utility function in a travel mode choice model. *The 11th International Conference on Travel Behaviour Research*. Kyoto, 2006.
  21. T. Yai and D. Fukuda: Microscopic simulation system of road traffic and air quality for large-scale transportation networks – ARTIST. *The 6th Regional Symposium on Infrastructure Development*. Quezon City, 2006.
  22. X.Y. Zhuang, D. Fukuda and T. Yai: Analyzing inter-regional travel mode choice behavior with multi nested generalized extreme value (MN-GEV) model. *The 6th Regional Symposium on Infrastructure Development*. Quezon City, 2006.
  23. X.Y. Zhuang, D. Fukuda and T. Yai: Analyzing inter-regional travel mode choice behavior with multi nested generalized extreme value model. *The 7th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Dalian, 2007.
  24. K.P. Nepal, D. Fukuda and T. Yai: Incorporating differences in marginal utilities of time across activities in a time allocation model. *The 7th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Dalian, 2007.
  25. P. Udayasen, D. Fukuda and T. Yai: Stated preference analysis of air travelers' multiple-airport choice behavior in Tokyo Metropolitan Area. *The 7th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Dalian, 2007.
  26. D. Fukuda, H. Matsumoto, S. Fujii: A new transport mode “Personal Mobile Vehicle (PMB)” to support mobility management by reducing mobility gap. *ECOMM 2007: European Conference on Mobility Management*. Lund, 2007.
  27. D. Fukuda and T. Yai: “ARTIST” - Microscopic simulation system of road traffic and air quality for large-scale transportation networks. *COPENMIND 2008*. Copenhagen, 2008.
  28. M. Fosgerau and D. Fukuda: Valuing reliability: Characteristics of travel time distribution on an urban road. *European Transport Conference*. Noordwijkerhout, 2008.
  29. G.U. Padayhag and D. Fukuda: Capturing university students' travel behaviour by exploring their social network: The developing country experience. *Sunbelt XXVIII International Sunbelt Social Network Conference*. St. Pete Beach, 2008.
  30. K. Monyrath, D. Fukuda and T. Yai: Optimizing frequency of bus services in mixed-traffic urban streets. *The 8th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Surabaya, 2009.
  31. G. Padayhag, D. Fukuda: Effects of socialization on activity-travel behavior in developing countries: A case study of university students in Metro Manila. *The 8th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Surabaya, 2009.
  32. G. Padayhag, D. Fukuda: The effects of ICT use on time planning of social activities: The experience in Metro Manila, Philippines. *The 12th International Conference on Travel Behaviour Research*. Jaipur, 2009.
  33. D. Fukuda: Various countermeasures for alleviating urban traffic congestion. *Workshop on Dhaka Urban*

- Transport Study (DHUTS)*. Dhaka, 2009.
34. D. Fukuda: Econometric analysis of illegal bicycle parking behavior in Japan with an empirical focus on solving social dilemmas. *The 18rd International Conference on Social Dilemmas*. Kyoto, 2009.
  35. D. Fukuda: Reliability valuation in Japan. *International Meeting on Value of Travel Time Reliability and Cost-Benefit Analysis*. Vancouver, 2009.
  36. S. Matsuo, T. Hatori and D. Fukuda: Evaluation of passenger flow lines in international airport terminals. *The 12th World Conference on Transport Research*. Lisbon, 2010.
  37. H. Yaginuma, D. Fukuda and J.-D. Schmöcker: A large scale application of a hyperpath based railway route assignment model considering congestion effects to Tokyo Metropolitan Area. *The 15th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2010.
  38. D. Fukuda: Tokyo commuters' illegal-parking choice under field effects. *The 8th Triennial Invitational Choice Symposium*. North Key Largo, 2010.
  39. D. Fukuda, M. Kobayashi and T. Hyodo: Households' multiple vehicle ownership and their car usage – An analysis with the nationwide interview survey in Japan. *The Seventh Triennial Symposium on Transportation Analysis*. Tromso, 2010.
  40. S.M.H. Hemdam, S.-Y. Chen, F. Kurauchi, J.-D. Schmöcker, D. Fukuda and H. Shimamoto: Analysis of commuters' route choice behaviour in a transit network based on London's Oystercard data. *The 2nd Behavior in Networks Workshop*, Seoul, 2011.
  41. G. Padayhag and D. Fukuda: Do ICT use and time planning affect travel behavior? – An empirical investigation in Metro Manila, Philippines. *The 9th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Jeju, 2011.
  42. A. Fonzone, J.-D. Schmöcker, J. Ma and D. Fukuda: Link-based route choice considering risk aversion, disappointment and regret. *The 3rd Behavior in Networks Workshop*, Hong Kong, 2011.
  43. J. Ma and D. Fukuda: Evaluating hyperpath routing with GPS probe data. *The 16th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2011.
  44. D. Fukuda: A large scale application of frequency-based railway route assignment model in Tokyo Metropolitan Area. *Full-Day Workshop of Traffic Incident Management, Traffic Simulation and Journey Planning*. London, 2011.
  45. D. Fukuda: Travel demand and climate change issues in Japan: Induced demand and rebound effects as drivers for road passenger transport. *Seminar on "Drivers and Limits" Project at DTU Transport, Technical University of Denmark*. Copenhagen, 2011.
  46. H. Yaginuma, D. Fukuda and J.-D. Schmöcker: Parallel implementation of the hyperpath based railway passenger assignment: Application to Tokyo's Metropolitan Rail Network. *The 15th International The 12th Conference on Advanced Systems for Public Transport (CASPT)*. Santiago, 2012.
  47. Z. Hong and D. Fukuda: Effects of traffic sensor location on traffic state estimation. *The 15th Meeting of the Euro Working Group on Transportation*. Paris, 2012.
  48. J. Ma, D. Fukuda and J.-D. Schmöcker: Accelerated hyperpath algorithms. *International Seminar on Public Transport in the Era of ITS*. Gifu, 2012.
  49. D. Fukuda: Effects of planned electric power failure on railway transport service in Tokyo metropolitan area after the 2011 Tohoku Earthquake. *Anglo-Japan Symposium "Building Resilient and Adaptable Infrastructure and Society - Drawing on Experiences of Tohoku Earthquake in 2011."* Tokyo, 2012.
  50. J. Ma and D. Fukuda: Reliability-based vehicle routing on a lite GIS platform. *The 5th International Symposium on Transportation Network Reliability*. Hong Kong, 2012.
  51. Y. Xiao, D. Fukuda, M. Tanishita and T. Matsuzaki: Accounting for interaction effects on the valuation of travel time variability. *The 5th International Symposium on Transportation Network Reliability*. Hong Kong, 2012.
  52. Y. Xiao and D. Fukuda: An extended scheduling model incorporating probability weight and risk attitude for valuation of travel time variability. *Kuhmo Nectar Conference and Summer School on Transportation Economics 2012*. Berlin, 2012.
  53. D. Fukuda, T. Seo, K. Yamada, H. Yaginuma and N. Matsuyama: An econometric based pedestrian walking

- behaviour model implicitly considering strategic or tactical decisions. *The 6th International Conference on Pedestrian and Evacuation Dynamics*. Zurich, 2012.
54. A. Fonzone, J.-D. Schmöcker, J. Ma and D. Fukuda: Link-based route choice considering risk aversion, disappointment and regret. *The 91st Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2012.
  55. D. Fukuda: Dynamic route guidance in Japan: New technologies and new methodologies for considering uncertainty. *Anglo-Japanese Seminar on Car and Passenger Routing under Travel Time Uncertainty*. London, 2012.
  56. D. Fukuda: Impacts of rolling blackouts on railway transport service in Tokyo Metropolitan Area after the 2011 Tohoku Earthquake. *Regional Conference on Asian Transport & Megacities*. Manila, 2012.
  57. D. Fukuda: Econometric analysis of road transport in Japan with an empirical focus on induced demand and rebound effects. *The Second International Seminar on Integration of Spatial Computable General Equilibrium and Transport Modelling*. Brussels, 2012.
  58. H. Gudmundsson and D. Fukuda: Towards sustainable transport in Japan? – The use of indicators in the governance of Japanese urban transport policy. *World Conference on Transport Research - SIG10 Workshop “Emerging Urban Transport Policies towards Sustainability.”* Vienna, 2012.
  59. J. Ma and D. Fukuda: Hyperpath based routing: Modeling, algorithms and evaluation. *Future Urban Mobility Symposium*. Singapore, 2013.
  60. D. Fukuda: Valuation studies of travel time variability in Japan. *TSU Seminar “Challenging Issues on Transport Studies.”* Tokyo, 2013.
  61. K. Yamada, J. Ma and D. Fukuda: Simulation analysis of the market diffusion effects of risk-averse route guidance on network traffic. *ABMTRANS 2013: Agent-based Mobility, Traffic and Transportation Models, Methodologies and Applications*. Halifax, 2013.
  62. T. Fukuda, D. Fukuda and S. Hanaoka: Access mode choice behaviour in multiple airport region: The case in Tokyo Metropolitan Area. *The 17th Air Transport Research Society (ATRS) World Conference*. Bergamo, 2013.
  63. R. Fujita, D. Fukuda and H. Yaginuma: Effects of electric power failure on the level-of-service of the railway transport in Tokyo Metropolitan Area. *The 10th International Conference on Urban Earthquake Engineering*. Tokyo, 2013.
  64. J. Ma and D. Fukuda: Hyperpath or shortest path: An evaluation method and a case study with GPS probe data. *The 10th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Taipei, 2013.
  65. Y. Tsukada and D. Fukuda: Comprehensive analysis of toll price elasticity of demand for toll roads – Demonstration projects on flexible charge in Japan. *The 10th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Taipei, 2013.
  66. Y. Xiao and D. Fukuda: Identifying the distribution of value of travel time with a monotonic nonparametric estimator. *hEART2013: The 2nd Symposium of the European Association for Research in Transportation*. Stockholm, 2013.
  67. J. Ma and D. Fukuda: A hyperpath-based route planning system on the cloud. *The 18th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2013.
  68. H. Gudmundsson and D. Fukuda: Indicators in the governance of sustainable transport policies in Japan. *The 92nd Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2013.
  69. H. Gudmundsson, D. Fukuda and Y. Cornet: Using performance indicators to promote sustainable transport in Japan. *The 13th World Conference on Transportation Research*. Rio de Janeiro, 2013.
  70. J. Ma and D. Fukuda: A note on route planning in transportation with open sources. *The 14th COTA International Conference of Transportation Professionals (CICTP 2014)*. Changsha, 2014.
  71. Q. Ge and D. Fukuda: Work/school-related travel demand estimation from aggregate datasets. *The 10th International Conference on Transport Survey Methods*. Leura, 2014.
  72. Y. Tsukada and D. Fukuda: Determinants of toll price elasticity of traffic demand: a comprehensive analysis of nationwide demonstration projects on flexible road use tolls in Japan. *The 93rd Transportation Research*



- Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2014.
73. A. Wicaksono, I. Lim, Y. Muromachi, K. Vergel, K. Choocharukul, Kasem; V.H. Tan, K. Terai, D. Fukuda and T. Yai: Road-based urban public transport and paratransit in six Asian countries: Legal conditions and intermodal Issues. *The 11th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Cebu, 2015.
  74. Y. Muromachi, I. Lim, A. Wicaksono, K. Vergel, K. Choocharukul, V.H. Tan, K. Terai, D. Fukuda and T. Yai: A comparative study on road-based urban public transport policies in six Asian countries from the viewpoint of governance, urban planning, and financial aspects. *The 11th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Cebu, 2015.
  75. T. Bando, D. Fukuda, A. Wicaksono and L.K. Wardani: Stated preference analysis for new public transport in a medium-sized Asian city: A case study in Malang, Indonesia. *The 11th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Cebu, 2015.
  76. D. Fukuda and Y. Xiao: On the cost of misperceived travel time variability. *Seminar Series at Center for Transport Studies, Royal Institute of Technology*. Stockholm, 2015.
  77. Y. Kikuchi and D. Fukuda: Rail passengers' departure time choice model in the Tokyo Metropolitan Area considering the effects of in-vehicle congestion. *The 20th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2015.
  78. J. Kamegai and D. Fukuda: Comparison of analytical approximation methods for multinomial probit model: A case study with passengers' rail-route choice analysis in the Tokyo Metropolitan Area. *The 20th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2015.
  79. M. Mizuguchi and D. Fukuda: Long-term time-series modeling of traffic demand for urban/interurban expressways in Japan. *The 20th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2015.
  80. R. Nakata, M. Nagasawa, M. Nakanishi, D. Fukuda and Y. Asakura: Application of an integrated approach for determining travel time reliability benefit in an urban expressway. *The 6th International Symposium on Transportation Network Reliability (INSTR)*. Nara, 2015.
  81. J. Ma and D. Fukuda: A hyperpath-based network generalized extreme-value model for route choice under uncertainties. *The 21st International Symposium on Transportation and Traffic Theory (ISTTT21)*. Kobe, 2015.
  82. D. Fukuda and M. Ito: Development of hyperpath-based risk-averse route guidance system and its verification. *The 7th Regional Symposium on Infrastructure Development*. Bangkok, 2015.
  83. J. Ma and D. Fukuda: Finding multiple dissimilar reliable routes in linear time complexity under travel time uncertainties. *The 94th Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2015.
  84. T. Iwase, Y. Tadokoro and D. Fukuda: Self-fulfilling signal of an endogenous state in network congestion games. *WINE 2015: The 11th Conference on Web and Internet Economics*. Amsterdam, 2015.
  85. T. Dantsuji, F. Fukuda, H. Oka and Y. Hagino: Preliminary study of the freight vehicle probe data from the urban freight survey in Tokyo Metropolitan Area 2014. *URBE2015 - Urban Freight and Behavior Change*. Rome, 2015.
  86. Q. Ge, J. Ma and D. Fukuda: A macroscopic approach for inferring dynamic origin-destination demand. *DTA2016: The 6th International Symposium on Dynamic Traffic Assignment*. Sydney, 2016.
  87. N. Kaneko and D. Fukuda: Route choice analysis with recursive logit model and large-scale probe vehicle data in the Tokyo Metropolitan Area. *The 21st International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2016.
  88. Q. Ge, P. Wang and D. Fukuda: A community detection method for identifying neighborhoods of macroscopic fundamental diagram. *The 21st International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2016.
  89. T. Dantsuji and D. Fukuda: Evaluation of impact of Olympic lanes on urban-scale network in central Tokyo based on macroscopic fundamental diagram approach *The 21st International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2016.
  90. T. Seo, K. Wada and D. Fukuda: A simplified model of urban railway system for dynamic traffic assignment.

- The 21st International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2016.
91. M. Mizuguchi, T. Kusakabe, D. Fukuda and Y. Asakura: Estimating area-wide travel time variability using probe data. *The 21st International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2016.
  92. T. Dantsuji, D. Fukuda and N. Zheng: A macroscopic approach for optimizing road space allocation of bus lanes in multimodal urban networks through simulation analysis: An application to the Tokyo CBD network. *The IEEE 20th International Conference on Intelligent Transportation Systems*. Yokohama, 2017.
  93. D. Fukuda, H. Kobayashi, W. Nakanishi, Y. Suga, K. Sriroongvikrai and K. Choocharukul: Estimation of paratransit passenger boarding/alighting locations using Wi-Fi based monitoring: Results of field testing in Krabi City, Thailand. *The 12th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Ho Chi Minh City, 2017.
  94. V.H. Tan and D. Fukuda: Determinants of intention to shift to a new high-quality bus service: A mixed logit model analysis for Ho Chi Minh City, Vietnam. *The 12th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Ho Chi Minh City, 2017.
  95. D. Fukuda, J. Ma, K. Yamada and N. Shinkai: Simulating the impacts of risk-averse vehicle navigations on network traffic flow under travel time uncertainty. *hEART2017: The 6th Symposium of the European Association for Research in Transportation*. Haifa, 2017.
  96. M. Imaoka and D. Fukuda: Transit assignment model for Tokyo Metropolitan Area considering route overlapping and in-vehicle congestions. *The 22nd International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2017.
  97. A. Suzuki, H. Yamaguchi and D. Fukuda: Data-fusion approach for trip-purpose estimation of inter-regional passengers. *The 22nd International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2017.
  98. T. Kusakabe, H. Yaginuma and D. Fukuda: Estimation of bus passengers' waiting time at a coach terminal with Wi-Fi MAC addresses. *The 11th International Conference on Transport Survey Methods*. Esterel, 2017.
  99. T. Seo, K. Wada and D. Fukuda: A macroscopic and dynamic model of urban rail transit with delay and congestion. *The 96th Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2017.
  100. J. Ma, Q. Ge and D. Fukuda: Developing and testing adaptive vehicle navigation in the field. *The 96th Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2017.
  101. H. Kato, D. Fukuda, Y. Yamashita, S. Iwakura and T. Yai: Latest urban rail demand forecast model system in the Tokyo Metropolitan Area. *The 96th Transportation Research Board Annual Meeting*. Washington D.C., 2017.
  102. D. Fukuda: Big data: Results from Japan – Introduction. *IVT-Seminar: Trip Purpose, Route Choice, and Effects of New High-Speed Rail Services*. Zurich, 2017.
  103. Q. Ge, K. Han, H. Fu and D. Fukuda: A dynamic system optimal model for hybrid network of reservoirs and connecting links. *DTA2018: The 7th International Symposium on Dynamic Traffic Assignment*. Hong Kong, 2018.
  104. H. Shiroma and D. Fukuda: Tolls and traffic demand: Evidence from the 2016 toll reform scheme for the Metropolitan Tokyo urban expressway network. *The 23rd International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2018.
  105. D. Fukuda, N. Ihoroi, W. Nakanishi, M. Arimura, T. Asada, K. Uchida, D. Kamiya and Y. Suga: Wi-Fi based continuous monitoring of tourists' travel behavior: Results of two large-scale field experiments in Japan. *The 15th International Conference on Travel Behavior Research*. Santa-Babara, 2018.
  106. A. Ishii, T. Kitazawa, S. Nakagawa, D. Fukuda and Y. Asakura: Study on evaluation of reliability ratio by integrated approach in an urban expressway. *The 7th International Symposium on Transportation Network Reliability (INSTR)*. Sydney, 2018.
  107. N. Kaneko, H. Oka, M. Chikaraishi, H. Becker and D. Fukuda: Route choice analysis in the Tokyo Metropolitan Area using a link-based recursive logit model featuring link awareness. *International*

*Symposium of Transport Simulation (ISTS'18) and the International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization (IWTDCS'18) Emerging Transport Technologies for Next Generation Mobility.* Matsuyama, 2018.

108. W. Nakanishi, H. Yamaguchi and D. Fukuda: Feature extraction of inter-region travel pattern using random matrix theory and mobile phone location data. *International Symposium of Transport Simulation (ISTS'18) and the International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization (IWTDCS'18) Emerging Transport Technologies for Next Generation Mobility.* Matsuyama, 2018.
109. A. Chamorro-Obra and D. Fukuda: Spatial distribution of Blablacar's intercity peer-to-peer ride-sharing trips: Case study of Spain. *International Symposium of Transport Simulation (ISTS'18) and the International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization (IWTDCS'18) Emerging Transport Technologies for Next Generation Mobility.* Matsuyama, 2018.
110. S. Hirabayashi, T. Dantsuji, Q. Ge and D. Fukuda: Cross comparison of spatial partitioning methods for urban transportation network. *International Symposium of Transport Simulation (ISTS'18) and the International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization (IWTDCS'18) Emerging Transport Technologies for Next Generation Mobility.* Matsuyama, 2018.
111. T. Dantsuji and D. Fukuda: Departure time and transport mode choices in cities with road bottlenecks and crowding in transit. *ITEA (International Transport Economics Association) Annual Conference and School on Transportation Economics.* Hong Kong, 2018.
112. D. Fukuda and H. Shiroma: Tolling and traffic demand: Evidence from the 2016 toll scheme reform on urban expressway network in the Tokyo Metropolitan Area. *ITEA (International Transport Economics Association) Annual Conference and School on Transportation Economics.* Hong Kong, 2018.
113. N. Kaneko, M. Chikaraishi and D. Fukuda: Impact of various tolling scheme on network traffic: A preliminary analysis with recursive logit route choice model. *The 8th Regional Symposium on Infrastructure Development.* Quezon City, 2018.
114. S.P. Arum and D. Fukuda: Modeling the relationship between transit-oriented development and land value. *The 8th Regional Symposium on Infrastructure Development.* Quezon City, 2018.
115. H. Yamaguchi, W. Nakanishi, D. Fukuda and K. Axhausen: Direct and indirect effects of new high-speed rail service: An empirical analysis using Japanese mobile phone location data. *The 97th Transportation Research Board Annual Meeting.* Washington D.C., 2018.
116. D. Fukuda: Big data applications in transportation planning. *2019 Tokyo Tech Research Showcase in Thailand.* Bangkok, 2019.
117. S.P. Arum and D. Fukuda: The impact of railway networks on residential land values within transit-oriented development areas. *The 13rd International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies.* Colombo, 2019.
118. S. Yamada, M. Ishibe, Y. Yamashita and D. Fukuda: Development of an activity-based model system for Tokyo Metropolitan urban rail planning. *The 13rd International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies.* Colombo, 2019.
119. R. Ishii, M. Yuichi, T. Ishigami and D. Fukuda: Analysis of maintenance activities among child-rearing households in the Tokyo Metropolitan Area. *The 13rd International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies.* Colombo, 2019.
120. A. Chamorro-Obra and D. Fukuda: Impacts of an economic incentive for intercity peer-to-peer ride-sharing in sparsely populated areas. *The 13rd International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies.* Colombo, 2019.
121. A. Suzuki, H. Yamaguchi and D. Fukuda: Optimizing intercity transportation network considering passengers' tour behavior. *INFORMS (Institute for Operations Research and the Management Sciences) 2019 Annual Meeting.* Seattle, 2019.
122. T. Dantsuji and D. Fukuda: A bi-modal morning commute problem in urban cities with road space distribution. *ITEA (International Transport Economics Association) Annual Conference and School on Transportation Economics.* Paris, 2019.
123. D. Fukuda M. Imaoka and T. Seo: Empirical investigation of fundamental diagram for urban rail transit by

- using commuter rail data in Tokyo. *TRANSITDATA2019 - The 5th International Workshop on Research and Applications on the Use of Passive Data from Public Transport*. Paris, 2019.
124. Q. Ge, D. Fukuda, K. Han and W. Song: Reservoir-based surrogate modeling of dynamic user equilibrium. *The 23rd International Symposium on Transportation and Traffic Theory (ISTTT23)*. Lausanne, 2019.
  125. D. Fukuda and K. Ogawa: Short-term traffic state prediction using the LSTM/GRU framework: A case Study in Kamakura City. *International Seminar on Short-Term Prediction for the Next Generation Transport Management*. Kyoto, 2019.
  126. K. Ogawa and D. Fukuda: Short-term traffic state prediction using the framework of gated recurrent unit: A case Study in Kamakura, Japan. *The 24th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2019.
  127. Y. Kita, D. Fukuda and R. Abe: Determinants of usage intention for fully-autonomous ride-sharing system: A case study in Japan. *The 24th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, 2019.
  128. K. Tabuchi and D. Fukuda: User perspective evaluation framework for a subscription-based multimodal urban transportation service using the recursive logit choice model. *The 25th International Conference of the Hong Kong Society for Transportation Studies (HKSTS)*. Hong Kong, December 2020.
  129. S. Kurosu, I. Komoto, S. Nakagawa, T. Kusakabe, D. Fukuda and Y. Asakura: Estimating joint route and departure-time choice model for reliability evaluation in an urban expressway. *The 8th International Symposium on Transportation Network Reliability (INSTR)*. Stockholm (Online), June 2021.
  130. N. Kaneko, D. Fukuda and Q. Ge: Optimal congestion tolling problem under the Markovian traffic equilibrium. *2021 International Symposium on Transportation Data and Modelling (ISTDM2021)*. Ann Arbor (Online), June 2021.
  131. D. Fukuda: Sustainable smart cities: Some Japanese experiences and prospects. *Workshop on Sustainable Smart Cities*. VIT-AP University. Online. April 5, 2021.
  132. D. Fukuda: The future of mobility in Tokyo: Transportation systems perspective. *The 6th Cambridge-UTokyo Joint Symposium*. Online. November 29, 2021.
  133. D. Fukuda; M. Chikaraishi; S. Nakagawa; T. Ono: A unified survey and estimation framework for valuing travel time reliability. *International Choice Modeling Conference*. Reykjavik (Hybrid). May 2022.
  134. D. Fukuda: The future of mobility in Tokyo after the pandemic: Transportation systems analysis perspective. Roundtable on Shaping Post-Covid Mobility in Cities, International Transport Forum. Online, June 2022.
  135. Z. Qin; D. Fukuda: Use of public transport and social capital building: An empirical study of Japan. *The 17th conference of the International Conference Series on Competition and Ownership in Land Passenger Transport (Thredbo 17)*, Sydney, September 2022.
  136. R. Yamanaka; D. Kamiya; A. Uechi; D. Fukuda: Analyzing overseas visitors' travel behavior at a world natural heritage site using Wi-Fi packet sensors. *The 16th International Conference on Travel Behaviour Research*, Santiago, December 2022.
  137. D. Fukuda: The possible future of mobility in the Tokyo Metropolitan Area after the pandemic. *airway System and Urban Development of Mega Cities 2022*. National Graduate Institute for Policy Studies. September 4, 2022.
  138. R. Abe, A. Niikura, R. Gouto, D. Fukuda: Market potential of last mile autonomous vehicles and their impact on rail travel in the Tokyo Metropolitan Area. Transportation Research Board 102nd Annual Meeting, Washington DC, United States, January 8-12, 2023.

#### 学術誌特集号主査 (Editor in Special Issue)

1. Fukuda, Daisuke (2019). Innovative travel survey methods and behavior modeling in the era of big data. *Asian Transport Studies*. Vol. 5, No. 3, pp. 436–438.

#### 書籍等 (Books and Book Chapters)

1. Se-il Mun and Daisuke Fukuda (2023). Road pricing and provision of capacity. In: *Handbook on Transport*

Pricing and Financing. [Alejandro Tirachini, Daniel Hörcher and Erik Verhoef (eds.)], Edward Elgar. Chapter 8, pp. 146–170.

<https://doi.org/10.4337/9781800375550.00015>

2. 福田大輔[分担執筆](2017). 信頼性評価. 土木計画学ハンドブック(土木学会・土木計画学ハンドブック編集委員会[編]). コロナ社.
3. 福田大輔[分担執筆](2017). 交通行動分析の展開. 日本土木史 平成3年～平成22年 -1991～2010-(土木学会・日本土木史編集特別委員会[編]). 土木学会.
4. Fukuda, Daisuke; Ma, Jiangshan; Yamada, Kaoru; Shinkai, Norifumi (2016). Tokyo: Simulating hyperpath-based vehicle navigations and its impact on travel time reliability. In: *The Multi-Agent Transport Simulation MATSim* [Horni, A., Nagel, K. and Axhausen, K. (eds.)]. Chapter 78, pp. 517–522.
5. 福田大輔 (2014). 旅行時間変動に起因するドライバーの移動コストの試算. 道路交通の信頼性評価 [中山晶一郎, 朝倉康夫 (編著), コロナ社]. 第14章, pp. 227–245.
6. 福田大輔 (2014). 時間信頼性の経済的価値付け. 道路交通の信頼性評価 [中山晶一郎, 朝倉康夫 (編著), コロナ社]. 第4章, pp. 39–71.
7. H.S. Palmiano, D. Fukuda and T. Yai: Analysis of measures to reduce delay and particulate matter emission at jeepney stops in Metro Manila by microsimulation. In: *Sustainable Civil Engineering - Harmonizing Infrastructure Development with the Environment*. [O. Kusakabe, T. Aramraks, R. Sigua, J. Takemura, N.B. Diola and W. Yodsudjai (eds.)]. Section 3.5.3, University of the Pholippine Press, pp. 234-245, 2009.
8. 福田大輔 (2003). ノルウェーにおけるユニバーサルデザインの計画手法. ユニバーサルデザインハンドブック(訳書)[荒井利春, 川瀬美彦, 古瀬敏, 清水忠男, 関根千佳, 田中眞, 森地茂(編)], 丸善, pp. 415–427.
9. 福田大輔[分担執筆](2002). 多摩ニュータウン／ハウステンボス／東京外かく環状道路／諫早湾干拓事業. 空から見る国土の変遷. 社団法人日本写真測量学会[編]. 古今書院.

#### 解説論文・総合報告等 (Report)

1. 福田大輔 (2023). GPT時代の学会の価値とは. 計画・交通研究会会報. 2023年5月号, p. 16.
2. 福田大輔 (2022). [巻頭言]道路ネットワークの社会的価値最大化に向けて. 交通工学. Vol. 57, No. 3, pp. 1–2.
3. 福田大輔, 越野晴秀, 日高洋祐, 佐治友基, 遠藤寛之 (2022). [パネルディスカッション] 地方部における新たなモビリティ. 計画・交通研究会会報. 2022年3月号, pp. 2–8.
4. 福田大輔, 柳沼秀樹, 峯岸宏治, 重松真理子, 佐治友基, 植村佳代 (2022). [パネルディスカッション] 次世代モビリティの実装と地域デザイン. 道路. Vol. 971, No. 2, pp. 16–17.
5. 福田大輔, 守島基博, 山内弘隆 (2021). [座談会] アフターコロナを見据えて—働き方改革と鉄道通勤—. 運輸と経済. No. 886, pp. 5–11.
6. 福田大輔 (2020). [講演] 公共財としての交通ビッグデータ. 高速道路と自動車. Vol. 63, No. 2, pp. 20–21.
7. 羽藤英二, 金光寛幸, 苦瀬博仁, 高野正克, 東良和, 福田大輔 (2018). [パネルディスカッション] ビッグデータをいかに活用するか. 道路. Vol. 923, No. 2, pp. 8–9.
8. 吉川徹, 羽藤英二, 伊藤香織, 福田大輔 (2017). [座談会] 都市の数理モデル・ビッグデータ解析研究の今後の展望 (特集 都市解析のためのモデルとデータ: 理論と実践の架け橋). 都市計画. Vol. 66, No. 2, pp. 12–17.
9. 福田大輔, 布施孝志, 円山琢也 (2016). 地域道路経済戦略研究会の中間提言: 2020年に向けた新たな道路政策の挑戦と実行 (特集 道路交通分野へのIT・ビッグデータの活用に向けた最新の取組). 道路. No. 902, pp. 14–17.
10. 福田大輔 (2016). 交通行動分析の過去と未来. 交通工学. Vol. 51, No. 1, pp. 32–33.
11. 福田大輔 (2015). 特別講演: 交通ビッグデータの活用. JICEレポート. No. 28, pp. 31–39.
12. 村上周三, 出口敦, 福田大輔 (2015). インタビュー サステイナブルな都市創造のための「評価」とは? (特集 都市の評価とランキング). 都市計画. Vol. 64, No. 1, pp. 62–69.
13. 福田大輔 (2014). 都市や地域の国際競争力をどう評価するか. 月刊建設. 2014年11月号, pp. 4–5.
14. 福田大輔 (2012). 道路ネットワークの整備がもたらす様々な効果. 日刊建設産業新聞. 2012年10月30日号.
15. 福田大輔 (2012). データ同化アプローチによる交通状態の推定に関する研究動向. 交通工学. Vol. 47, No. 2, pp. 33–38.
16. 福田大輔 (2012). 移動の定時性の評価に向けて. 高速道路と自動車. Vol. 55, No. 8, p. 11.
17. 福田大輔 (2011). 計画停電が首都圏鉄道輸送サービスに及ぼした影響. 都市計画. Vol. 50, No. 4, p. 48–51.
18. 福田大輔 (2010). 旅行時間変動の経済評価～研究動向のレビューと実適用に向けた課題の整理. 交通工学. Vol.

- 45, No. 2, pp. 9–15.
19. **福田大輔** (2009). スtockホルムにおける道路混雑課金恒久実施までの計画・施策調整プロセス. 交通工学. Vol. 44, No. 2, pp. 45–48.
  20. **福田大輔** (2008). コペンハーゲン・メローカストラップ空港への延伸とシティ・リング・プロジェクト. 運輸政策研究. Vol. 10, No. 4, pp. 48–54.
  21. **福田大輔** (2008). デンマークの国土交通インフラ整備に関する長期ビジョン. 都市計画. Vol. 57, No. 2, p. 92.
  22. Yai, Tetsuo Yai; Hirata, Terumitsu; Fukuda, Daisuke (2007). Road transport simulation studies in Tokyo Tech YAI Laboratory. *Kirkasta Ja Sumeaa - Crisp and Fuzzy - Essays on Transportation Engineering in Honour of Professor Matti Pursula on his Sixtieth Birthday*. Helsinki Institute of Technology Press, pp. 381-392.
  23. **福田大輔** (2007). 人々の温もりが感じられるデンマークの街並み. 交通工学. Vol. 42, No. 6, pp. 108-111.
  24. **福田大輔**, 八木宏, 森脇亮, 渡邊学歩, 木本和志, 大澤和敏, 田辺篤史 (2006). 東京工業大学土木工学科における「創造性育成」のための取り組み. 土木学会第61回年次学術講演会講演概要集. 共通(CS)部門, CD-ROM.
  25. **福田大輔** (2006). 知っ得ソフト「迷惑メールフィルタリング」. 測量. Vol. 56, No. 12, p. 35.

#### 招待講演 (Invited Talk and Lecture)

1. ポストコロナの交通像に関する一私論, 第688回建設技術講習会, 新潟, 新潟ユニゾンプラザ, 2022年11月16日.
2. パッシブデータによる観光交通マネジメント支援の可能性, 北海道の未来をつくる道路施策の勉強会, 北海道開発局函館開発建設部, 2022年8月18日.
3. 離散選択モデル研究の最近の展開—異質性と摂動性の観点から—, 第64回土木学会土木計画学研究発表会・招待講演, オンライン, 2021年12月4日.
4. ポストコロナの交通像に関する一私論, 運輸総合研究所第50回研究報告会, 東京, ベルサール御成門, 2021年12月1日.
5. 多様な移動を支える次世代交通拠点とネットワークの構築に向けて, 第34回日本道路会議, 東京, 日本都市センター会館, 2021年11月5日.
6. モビリティの将来予測と評価～交通システム分析の観点から, 東京, 本田技術研究所, 2021年11月2日.
7. 次世代モビリティを支える交通ビッグデータ, 地域ITSマネジメント研修(国土技術政策総合研究所), オンライン, 2021年2月3日.
8. モビリティの変革と人々の行動変容～「東京都市圏における新たな都市交通戦略」を題材として, 自動車技術会第4回エネルギー部門委員会, オンライン, 2020年12月17日.
9. パッシブデータによる観光交通マネジメント支援の可能性, 北海道開発局講演会, 北海道開発局網走開発建設部, 2020年9月24日.
10. データから沖縄の都市・交通・観光のあるべき姿を考える, 新たな社会基盤のあり方に関する勉強会, 那覇, 沖縄県庁, 2020年2月28日.
11. 交通行動の分析とモデリング～アクティビティベースアプローチの実務展開に向けて～, 令和元年度東京都市圏交通計画協議会・市区町村セミナー, 東京, AP秋葉原, 2020年1月21日.
12. 北海道における交通インフラストック効果の評価～時間信頼性とWIDER ECONOMIC IMPACTSに着目して, (一財)北海道道路管理技術センター 講演会, 札幌, 北海道道路管理技術センター, 2020年1月7日.
13. 公共財としての交通ビッグデータ, (公財)高速道路調査会 講演会, 大阪, AP大阪駅前, 2019年11月29日.
14. 公共財としての交通ビッグデータ, 令和元年度第2回ITSセミナー, 東京, (一財)道路新産業開発機構, 2019年11月28日.
15. 旅行時間信頼性研究の展望, 第11回愛媛大学坊っちゃんセミナー, 松山, 愛媛大学, 2019年3月5日.
16. 多様なデータソースを用いた観光流動の把握について, 情報化月間シンポジウム:データから観光を探る～エビデンスベースの観光施策に向けて～, 京都, 一般社団法人システム科学研究所, 2018年12月7日.
17. 交通行動の分析とモデリング: 予測・評価・制御への応用, 計測自動制御学会都市インフラシステム構築と制御調査研究会, 東京, 計測自動制御学会, 2017年1月31日.
18. 仮想ETC2.0データを用いた道路の時間信頼性指標の試算と課題, 講演会:ETC2.0データの利用を想定した道路の信頼性評価, 東京, 一般財団法人ITSサービス高度化機構, 2016年7月25日.
19. ETC2.0等を活用した“Data-Oriented”交通マネジメントの可能性, 北海道ITSフォーラム講演会, 札幌, 北海道ITS推進フォーラム, 2016年6月23日.

20. 交通ビッグデータの活用, 第26回日・韓建設技術SEMINAR, 東京, 一般財団法人国土技術研究センター, 2015年9月1日.
21. 行動モデル・時間信頼性を中心とした研究紹介, 東京, 社会システム株式会社, 2013年11月26日.

#### 査読 (Journal Referee Service)

1. 土木学会論文集
2. 土木計画学研究・論文集
3. 交通工学論文集
4. 行動計量学
5. 都市計画論文集
6. 交通学研究
7. 地球環境
8. IET Intelligent Transport Systems
9. Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies
10. IEEE Intelligent Transportation Systems Transportation
11. Journal of Advanced Transportation
12. Journal of Intelligent Transportation Systems: Technology, Planning, and Operations
13. Transportation Research Part A: Policy and Practice
14. Transportation Research Part B: Methodological
15. Transportation Research Part C: Emerging Technologies
16. Transportation Research Part D: Transport and Environment
17. Transportation
18. Transportmetrica Part A
19. Transportmetrica Part B
20. Public Transport
21. Journal of Production Economics
22. Sustainable Cities and Society
23. International Symposium on Transportation & Traffic Theory (ISTTT)
24. Asian Transport Studies

#### 公的審議会・委員会等における貢献 (External Committee)

1. OD調査に関する懇談会(2023.6-現在), 国土交通省道路局, 委員長.
2. 未来道路会議(2023.5-現在), 一般財団法人国土技術研究センター, 委員.
3. 次世代ITS検討会(2023.3-現在), 国交省道路局, 委員.
4. 沖縄レンタカー事故対策プロジェクトにおけるアドバイザー(2023.1-現在), トヨタ・モビリティ基金, アドバイザー.
5. 空港技術懇話会(2023.1-現在), 国土交通省航空局, 委員.
6. 次世代高規格ユニットロードターミナル検討会(2023.1-現在), 国交省港湾局, 委員.
7. 板橋区自転車+活用推進協議会(2023.1-現在), 東京都板橋区, 委員長.
8. 近未来道路政策研究会(2022.12-現在), 一般財団法人日本みち研究所, 委員.
9. 都市交通調査の深度化に向けた検討委員会(2022.10-現在), 国土技術政策総合研究所, 委員.
10. 高速道路におけるカーボンニュートラルに向けた総合的な施策等に関する基礎的研究委員会(2022.7-現在), 高速道路調査会, 委員.
11. 宇都宮国道における事業・施策検討会(2022.7-2023.3), 国土交通省関東地方整備局, 委員.
12. 沖縄本島中南部都市圏総合都市交通協議会(2022.6-現在), 沖縄県, 委員.
13. 運営研究会(2022.4-現在), 運輸総合研究所, 委員.
14. ポストコロナの公共交通のあり方検討委員会〔後継: 日本を支える公共交通のあり方検討委員会〕(2021.9-2023.3), 運輸総合研究所, 委員.
15. ポストコロナの公共交通のあり方検討委員会・地域内交通小委員会〔後継: 日本を支える公共交通のあり方検討委員会〕(2021.10-2023.3), 運輸総合研究所, 座長.
16. 東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会(2021.9-現在), 東京都市圏交通計画協議会, 委員.



17. 鉄道整備と沿線開発に関する研究会(2021.6-現在), 運輸総合研究所, 委員.
18. 交通拠点と防災のあり方/あり様に関する検討会(2021.1-2023.3), 国土交通省関東地方整備局, 委員.
19. 首都圏道路ネットワークの整備効果検討会準備会(2020.12-現在), 国土交通省関東地方整備局, 委員.
20. 新道路技術会議(2020.11-現在), 国土交通省・道路局, 委員.
21. ISO/TC204インフラステアリング委員会(2020.9-現在), 国土交通省国土技術政策総合研究所, 委員.
22. バスタプロジェクト検討推進会(2020.9-2021.9), 国土交通省道路局, 委員.
23. ISO/TC204 WG19(2020.1-現在), International Organization for Standardization, 委員.
24. 高度道路交通システム(ITS)の標準化に係る技術委員会(2019.12-現在), 自動車技術会, 委員.
25. 将来需要予測モデル構築に関する勉強会(2019.12-現在), 東京都交通局, 委員.
26. 自転車活用推進委員会(2019.5-現在), 東京都大田区, 委員.
27. ICTを活用した新道路交通調査体系検討会(2018.10-現在), 国土交通省道路局, 委員.
28. 大都市交通センサス調査検討委員会 及び 技術検討ワーキンググループ(2017.3-現在), 国土交通省総合政策局, 委員.
29. 鉄道事業の事業評価に係る勉強会(2018.10-現在), 鉄道建設・運輸施設整備支援機構, 委員.
30. 地域道路経済戦略研究会・沖縄研究会(2015.12-2023.3), 内閣府・沖縄総合事務局, オブザーバー.
31. 地域道路経済戦略研究会・関東研究会(2015.12-現在), 国土交通省関東地方整備局, 委員長.
32. 地域道路経済戦略研究会(2015.12-現在), 国土交通省道路局, 委員.
33. 都市計画審議会(2015.9-現在), 神奈川県, 委員.
34. 公共事業評価審査委員会(2015.7-現在), 川崎市, 委員.
35. 全国幹線旅客純流動調査委員会 及び 幹事会(2014.10-現在), 国土交通省総合政策局, 委員.
36. 道路時間信頼性評価手法検討委員会(2012.11-現在), 阪神高速道路株式会社, 委員.
37. 自動車の保有・利用に関する動向調査研究会(2010.9-2021.3), 国土交通省道路局, 委員.
38. 道路の時間価値に関する調査・研究委員会(2009.11-2020.3), 国土交通省道路局, 委員.
39. 自転車等駐車対策討議会(2009.7-現在), 東京都大田区, 副会長.
40. 最近の交通問題と道路サービスに関する意見交換会[新道路研究会](2008.4-現在), 国土交通省道路局, 委員.
41. TDM施策推進アクションプログラム検討委員会(2021.12-2022.3), 沖縄県, 委員.
42. オンライン社会の加速化に伴う新たな脱炭素社会ビジョンに関する有識者意見交換会 (2021.10-2022.3), 環境省, 委員.
43. バッテリー交換式EVと再エネ活用セクターカップリング型ビジネスモデル検討委員会(2021.11-2022.3), SBエナジー株式会社, 委員.
44. 関東地方道路協議会有識者懇談会(2021.6-2021.7), 国土交通省関東地方整備局, 委員.
45. ビッグデータを活用した旅客流動分析等に関する調査委員会(2021.6-2021.9), 国土交通省総合政策局, 委員.
46. 第8回線引き見直しに向けた検討会(2021.6-2022.3), 神奈川県, 委員.
47. 自転車活用推進計画策定委員会(2021.3-2022.3), 東京都板橋区, 委員長.
48. 整備新幹線の収支採算性に関する需要予測に関する委員会(2020.12-2021.3), 鉄道建設・運輸施設整備支援機構, 委員.
49. 新たな広域道路ネットワークに関する検討会(2020.2-2021.7), 国土交通省道路局, 委員.
50. 2030年モビリティ研究会(2020.1-2020.3), 内閣官房, 委員.
51. ナイトタイムエコノミーに対応した交通サービスの推進に向けた調査・有識者検討会(2019.11-2020.3), 国土交通省総合政策局, 委員.
52. 自動走行に対応した道路空間についての検討会(2019.5-2020.6), 国土交通省道路局, 委員.
53. 都市計画に関する基本的な方針等改訂推進委員会(2019.5-2022.3), 東京都大田区, 委員.
54. 大田区空港臨海部グランドビジョン専門部会(2019.5-2022.3), 東京都大田区, 委員.
55. インドネシア「JABODETABEK都市交通政策統合プロジェクトフェーズ2」(JUTPI2)における交通調査に係る国内支援委員会(2018.9-2019.3), 独立行政法人国際協力機構, 委員.
56. 未来の移動とみちとまち研究会(2018.3-2019.3), 日本みち研究所, 委員.
57. 都市計画審議会(2018.4-2022.3), 東京都大田区, 委員.
58. 日光地区における交通渋滞や観光客の周遊動向等に関する調査検討会(2018.1-2018.6), 運輸総合研究所,



- 委員.
59. 交通マネジメント新技術評価委員会(2018.1-2019.3), 国土交通省道路局, 委員長.
  60. 田園都市線の在り方検討会(2017.10-2018.9), 東京急行電鉄株式会社, 委員.
  61. 地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会(2017.7-2018.3), さいたま市政策局, 委員.
  62. 東京都市圏総合都市交通体系調査技術検討委員会(委員)/合同ワーキング(委員)/都市交通ビジョンワーキング(委員)/交通行動モデルワーキング(委員長)(2017.3-2021.3), 国土交通省関東地方整備局, 委員.
  63. TDM施策推進アクションプログラム検討委員会(2016.12-2017.3), 沖縄県, 委員.
  64. 高速道路料金の効果分析・検証勉強会(2016.7-2019.3), 国土交通省道路局, 委員.
  65. OD推計検討会(2016.11-2017.3), 国土交通省都市局, 委員.
  66. 開発途上国における交通調査および交通需要予測にかかる調査・国内支援委員会(2016.10-2018.3), 独立行政法人国際協力機構, 委員.
  67. 車両搭載センシング技術活用勉強会検討委員会(2016.3-2016.3), 国土交通省道路局, 委員.
  68. 航空手荷物新技術研究会(2016.2-2016.3), NPO法人空港に於けるRFID技術普及促進連絡会, 委員.
  69. ETC2.0データの利活用に関する検討会(2015.11-2016.3), 国土交通省道路局, 委員.
  70. JICA課題別研修「総合都市交通計画」コース(2015.10-2020.3), 一般財団法人国土計画協会, 講師.
  71. 総合資源エネルギー調査会 ガスシステム改革小委員会(2015.8-2016.8), 経済産業省・資源エネルギー庁, 委員.
  72. 経済・財政政策の観点から見た公共投資等のあり方検討会(2015.7-2016.9), 国土交通省総合政策局, 委員.
  73. 次期東京都市圏パーソントリップ調査に関する意見交換会(2015.1-2015.3), 国土交通省都市局, 委員.
  74. 東京地下鉄事業再評価監視委員会ワーキンググループ(2015.1-2015.3), 東京メトロ株式会社, 委員.
  75. 新たな道路交通調査体系に関する懇談会(2014.12-2015.3), 国土交通省道路局, 委員.
  76. 都市鉄道の需要予測に関する勉強会(2014.10-2015.8), 一般財団法人運輸政策研究機構, 委員.
  77. モバイルビッグデータによる交通情報革命に関する調査検討委員会(2014.8-2016.3), 財団法人運輸政策研究機構, 委員.
  78. 地下鉄7号線延伸検討会会議(2014.8-2015.3), さいたま市政策局, 委員.
  79. 運輸部門における温室効果ガス排出量等の定量化及び検討・施策検討会(2014.7-2015.3), 環境省, 委員.
  80. 東京圏における交通需要予測手法に関する勉強会(2014.7-2014.8), 財団法人運輸政策研究機構, 委員.
  81. 東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会ネットワークワーキンググループ(2014.6-2015.6), 国土交通省関東地方整備局, 委員.
  82. 企画競争有識者委員会及び業務成績評定審査委員会(2014.4-2018.4), 国土交通省道路局, 委員.
  83. 埼玉県内公共交通網検討委員会(2013.12-2015.3), 埼玉県, 委員.
  84. アジア交通・物流勉強会(2013.12-2014.3), 環境省地球環境局, 委員.
  85. 21世紀自動車社会の未来に関する体系的研究会・道路インフラシステム調査分科会(2013.11-2016.3), 日本総合研究所, 委員.
  86. 社会資本整備総合交付金都市再生整備計画事業事後評価委員会(2013.11-2015.3), 東京都大田区, 委員.
  87. 広域天然ガスパイプライン整備の評価手法の検討に関する研究会(2013.1-2013.3), 経済産業省・資源エネルギー庁, 委員.
  88. 中部国際空港実証実験評価検討委員会(2012.11-2014.3), 中部国際空港株式会社, 委員.
  89. アクセシビリティの現状分析に関する調査研究勉強会(2012.11-2013.3), 国土交通省国土交通政策研究所, 委員.
  90. 節電対策のための企業等の勤務形態変更が鉄道輸送に与えた影響に関する調査委員会(2012.1-2012.3), 国土交通省鉄道局, 委員.
  91. 伊豆地域の道路整備のあり方検討会(2011.9-2012.6), 静岡県, 委員.
  92. 東京圏における鉄軌道整備の現状把握と今後の方向性の検討に関する調査検討会(2011.9-2012.3), 運輸政策研究機構, 委員.
  93. 交通バリアフリー推進基本構想協議会(2011.5-2013.5), 東京都目黒区, 委員/副会長.
  94. 都市鉄道の需要予測手法の精度向上に向けた勉強会(2011.1-2012.3), 運輸政策研究機構, 委員.
  95. 新幹線の利用環境に関する調査検討委員会(2009.4-2010.3), 鉄道運輸機構, 委員.
  96. バングラデシュ国ダッカ都市交通網整備事業準備調査にかかる国内支援委員会(2009.2-2010.3), 独立行政法人国際協力機構, 委員.

97. まちづくり交付金評価委員会(2008.9-2009.3), 東京都大田区, 委員.
98. 自動車輸送統計及び内航船舶輸送統計改善の新たな調査手法に係る研究会(2006.1-2009.3), 国土交通省総合政策局, 委員.
99. 都市幹線交通のサービス水準に着目した総合交通体系の評価に関する検討会(2006.1-2007.1), 国土交通省総合政策局, 委員.